

千葉大学 医学部 医学教育研究室

千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター

2024 年度

年次報告書

目次

1. 組織.....	5
千葉大学 医学部 医学教育研究室.....	5
千葉大学 大学院医学研究院 医学教育学.....	5
千葉大学 大学院医学研究院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座.....	6
千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター.....	7
2. 学部・大学院教育.....	9
学部教育（医学部）.....	9
白衣式（第15回）（医学部）.....	10
学部教育（看護学部、他大学：附属病院看護部）.....	10
学部教育（普遍教育科目）.....	11
学部教育（サークル・部活動）.....	11
大学院教育（医学薬学府、看護学研究科）.....	11
学部・大学院教育（その他）.....	11
3. 卒後教育.....	12
新入職員研修.....	12
研修医個別面談.....	14
臨床研修報告会（第14回）.....	14
研修医定例ミーティング.....	14
アテンディングミーティング（FD）.....	14
看護職員院内研修.....	16
看護師特定行為研修.....	21
特定行為研修修了者フォローアップ研修.....	22
卒後教育（その他）.....	22
4. 試験業務.....	23
web-based test (wbt)（医学部）.....	23
共用試験（医学部）.....	23
研修医選抜試験（医学部附属病院）.....	23
基本的臨床能力評価試験（研修医）（医学部附属病院）.....	24
5. FD 実施.....	25
医学教育リトリート（医学部）.....	25
FD 一覧（医学部授業関連等）.....	29
FD 一覧（医学部地域医療教育FD）.....	34
FD 一覧（附属病院看護部）.....	39
臨床研修指導医講習会.....	39
地域のための指導医講習会 in 千葉（第3回）.....	39
千葉県臨床研修指導医養成講習会（第19回）.....	40

千葉大学卒後臨床研修指導医養成ワークショップ（第 23 回）	40
FD 実施（その他）	41
6. 教育管理	42
委員会活動・兼務	42
医学部／大学院医学研究院	42
医学部附属病院	42
千葉大学（医学部、医学部附属病院以外）	43
千葉大学以外	43
ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業	44
質の高い臨床教育・研究の確保事業	44
模擬患者養成・管理	45
千葉大学いのはな SP 会（日本語模擬患者）	45
英語模擬患者	45
7. 国際交流	46
派遣実績（医学部）	46
受入実績（医学部）	47
受入実績（附属病院看護部）	47
海外視察と留学協定締結交渉（医学部・看護学部・IPERC 等）	47
千葉大学医学部国際プログラム留学生推移	50
8. 広報活動	51
医学部／医学部附属病院（見学会）	51
医学研究院／医学部／医学部附属病院（広報資料）	51
Web ちば臨床研修病院ナビ	51
千葉大学医学部附属病院看護部オープンホスピタル	52
広報活動（その他）	52
9. 学会活動	53
10. 学術活動	55
学会発表（特別講演・シンポジウム）	55
学会発表（一般発表）	56
原著	62
書籍	69
総説	70
教材開発	72
その他	72
競争的資金	73
11. IR データ	77
卒前教育 IR データ	77
卒後教育 IR データ	77
その他	77

12. 資料（規程等）	78
千葉大学医学部医学教育研究室規程	78
千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程	79
千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター教育研修管理チーム内規	80

1. 組織

千葉大学 医学部 医学教育研究室

千葉大学 大学院医学研究院 医学教育学

- 千葉大学大学院医学研究院医学教育学の教職員は医学教育研究室業務を兼務する。
- 千葉大学大学院医学研究院千葉県寄附講座地域医療教育学講座の教職員（地域アテンディングを除く）は医学教育研究室業務を兼務する。
- 総合医療教育研修センターの教職員のうち、医学部長の指示の下で医学教育研究室長あるいは総合医療教育研修センター長から指名された者は、医学教育研究室業務を兼務する。

構成員一覧（医学教育研究室）

	氏名	職位	所属（主となるもの）	備考
室長	伊藤 彰一	教授	医学教育学	
副室長 実施管理	笠井 大	講師	医学教育学	
医療安全	清水 郁夫	特任教授	医学教育学	
IR	田島 寛之	特任助教	医学教育学	
IR	小野寺 みさき	特任助教	医学教育学	
IR	木村 康彦	特任助教	総合医療教育研修センター	
国際	塚本 知子	特任講師	総合医療教育研修センター	
国際	Nusrat Fatema	特任助教	総合医療教育研修センター	
国際	Psyche Fontanos	非常勤講師	医学教育学	～2024年7月
国際	Sartap Maral	非常勤講師	医学教育学	2024年10月～ 2025年3月
事務	市山 実奈	事務補佐員	医学教育学	
事務	松浦 薫	事務補佐員	医学教育学	
事務	中澤 里那	事務補佐員	学務課	

※地域医療教育学講座は次表を参照。

千葉大学 大学院医学研究院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座

構成員一覧（地域医療教育学）

	氏名	職位	備考
地域医療教育学	伊藤 彰一	教授	
地域医療教育学	山内 かづ代	特任教授	～2025 年 3 月
地域医療教育学	鋪野 紀好	特任准教授	
地域医療教育学	荒木 信之	特任講師	
地域医療教育学	高橋 在也	特任助教	
地域アテンディング	勝山 陽太	特任助教	
地域アテンディング	宮本 真衣	特任助教	～2025 年 3 月
地域アテンディング	青木 信也	特任助教	
地域アテンディング	曾我井 大地	特任助教	
地域アテンディング	村山 愛	特任助教	
地域アテンディング	森 徳郎	特任助教	
地域アテンディング	尾崎 尚人	特任助教	
地域アテンディング	山田 悟史	非常勤講師	
地域アテンディング	長谷部 圭亮	非常勤講師	
地域アテンディング	杉田 昌昭	特任助教	
事務	松本 徹	事務補佐員	

千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター

構成員および関係者一覧（初期臨床研修医、専攻医を除く）

氏名	職位	担当	兼任	備考
伊藤 彰一	教授	センター長	CCSC センター 長	
酒井 郁子	教授	副センター長	IPERC センター 長 看護学研究院副 研究院長	
笠井 大	講師	副センター長 実務者	医学教育学	
塚本 知子	特任講師	教育研修実践 国際		
Nusrat Fatema	特任助教	教育研修実践 国際		
木村 康彦	特任助教	IR		
桐山 加奈子	特任助教	教育研修実践		
吉田 幸恵	特任助教	教育研修管理		
臼井 いづみ	特任助教	CCSC	IPERC	
新井 加代子	看護師長	看護師教育	看護部	
富重 由美子	副看護師長		看護部	
今井 陽子	副看護師長		看護部	
渡邊 朋	副看護師長		看護部	
遠藤 展美	副看護師長		看護部	
酒井 佳織	副看護師長		看護部	
栗田 亜実	副看護師長		看護部	
根岸 智子	事務補佐員	事務		
阿曾沼 優花	事務補佐員	事務		
及川 香	事務補佐員	事務		～2024 年 12 月
管藤 亜樹子	事務補佐員	事務		2024 年 11 月～
植松 智子	事務補佐員	レジデントクラーク	病院総務課	
大木 身知子	事務補佐員	CCSC	病院総務課	
田尻 明美	事務補佐員	事務	病院総務課	
飯沼 加奈	事務補佐員	事務	病院総務課	

井上 将法	特任助教	アテンディング	消化器内科	
松井 慎一郎	特任助教	アテンディング	血液内科	
林 あゆみ	特任助教	アテンディング	腎臓内科	～2024 年 6 月
吉村 仁宏	特任助教	アテンディング	腎臓内科	2024 年 7 月～
石川 絢一	特任助教	アテンディング	アレルギー・膠原病内科	～2024 年 6 月
栗原 俊二郎	特任助教	アテンディング	アレルギー・膠原病内科	2024 年 7 月～
寺本 直弥	特任助教	アテンディング	糖尿病・代謝・内分泌内科	
立石 和也	特任助教	アテンディング	循環器内科	
宮腰 純	特任助教	アテンディング	呼吸器内科	
吉川 寛	特任助教	アテンディング	感染症内科	
平田 篤史	特任助教	アテンディング	食道・胃腸外科	
松山 尚樹	特任助教	アテンディング	肝胆膵外科	
松井 由紀子	特任助教	アテンディング	呼吸器外科	
柴田 裕貴	特任助教	アテンディング	泌尿器科	
飛世 知宏	特任助教	アテンディング	救急科・集中治療部	
菱谷 崇寿	特任助教	アテンディング	整形外科	
川野 明日香	特任助教	アテンディング	皮膚科	
中川 優	特任助教	アテンディング	精神神経科	
須藤 佑輔	特任助教	アテンディング	精神神経科	2024 年 10 月～
折口 慎一	特任助教	アテンディング	脳神経外科	2024 年 5 月～
水地 智基	特任助教	アテンディング	脳神経内科	
奥谷 理恵	特任助教	アテンディング	婦人科・産科	
平田 優	特任助教	アテンディング	小児科	
西村 雄宏	特任助教	アテンディング	小児外科	
相原 啓紀	特任助教	アテンディング	病理診断科	2024 年 10 月～
李 宇	特任助教	アテンディング	総合診療科	

2. 学部・大学院教育

学部教育（医学部）

担当科目

科目名	履修年次	授業担当（○責任者）
導入 PBL テュートリアル	1 年次	○伊藤 彰一、笠井 大
ヒューマン・バイオロジ	1 年次	○伊藤 彰一
チーム医療Ⅰ（IPEⅠ）	1 年次	○笠井 大、田島寛之
医学英語Ⅰ	1 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
地域医療学	1～6 年次	○伊藤 彰一、山内 かづ代、 鋪野 紀好、荒木 信之
異文化コミュニケーション	1～6 年次	○伊藤 彰一
チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）	2 年次	○笠井 大
生命倫理演習	2 年次	○笠井 大
医学英語Ⅱ	2 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
医師見習い体験学習	3 年次	○笠井 大
チーム医療Ⅲ（IPEⅢ）	3 年次	○笠井 大
臨床入門Ⅰプロフェッショナルリズム	3 年次	朝比奈 真由美、笠井 大
臨床入門Ⅰ診療録実習	3 年次	田島寛之、笠井大
臨床入門ⅠコミュニケーションⅠ・Ⅱ	3 年次	笠井 大
医学英語Ⅲ	3 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
臨床入門ⅡコミュニケーションⅢ	4 年次	笠井 大、田島寛之
臨床入門Ⅱ診療録実習	4 年次	田島寛之、笠井大
チーム医療Ⅳ全人の評価（ICF）	4 年次	○笠井 大
チーム医療Ⅳ（IPEⅣ）	4 年次	○笠井 大
CC ベーシック プロフェッショナルリズム WS	4 年次	笠井 大
CC ベーシック 診療録実習	4 年次	田島寛之、笠井大
CC ベーシック 地域志向型 PBL	4 年次	○伊藤 彰一、山内 かづ代、鋪野 紀好、荒木 信之、清水 郁夫、塚 本 知子、田島 寛之
医学英語アドバンスト（選択）	4・5 年次	○伊藤 彰一、Nusrat Fatema、 塚本 知子
海外クリニカルクラークシップ（選択）	5・6 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子

臨床実習Ⅰプロフェッショナリズム WS1、キャリア講演会	5年次	○笠井 大、 ○伊藤 彰一
臨床実習Ⅰプロフェッショナリズム WS2、臨床研修ガイダンス	5年次	○笠井 大、 ○伊藤 彰一
臨床実習Ⅰ 地域臨床実習	5年次	○伊藤 彰一、山内 かづ大、鋪野 紀好、荒木 信之
臨床実習Ⅱ 医療プロフェッショナリズム 演習	5年次	桐山加奈子
臨床実習Ⅱプロフェッショナリズム WS	6年次	○笠井 大 ○伊藤 彰一

アテンディング担当科目：

- 1年次：IPE Step1
- 2年次：IPE Step2
- 3年次：IPE Step3、医師見習い体験学習、イノベティブ先端治療学
- 4年次：IPE Step4、CC ベーシック（末梢静脈確保、手洗い実習、皮下注・筋注）
- 5年次：クリニカル IPE、電子カルテ操作説明、キャリアプラン講演会
- 4～6年次：クリニカルクラークシップ（CC）、アスパイアプロジェクト

上記のほか、所属診療科のユニット講義のマネジメント等を担当されている場合がある。

白衣式（第15回）（医学部）

日時：2024年11月29日（金）14:00～16:00

場所：医学部 ゐのはな記念講堂

来賓：三木隆司（医学部長）、花澤豊行（附属病院長代理）、
伊藤彰一（学部学務委員長）、吉原俊雄（ゐのはな同窓会会長）、
当間雄之（医学部後援会4年次理事）、青柳信子（千葉白菊会会長）

学部教育（看護学部、他大学：附属病院看護部）

看護学実習等実施状況 6校 988名

学校名	実習科目数	学生数
千葉大学看護学部	16科目	523名
千葉県立保健医療大学	6科目	116名
淑徳大学	7科目	82名
国際医療福祉大学	2科目	17名
千葉市青葉看護専門学校	5科目	80名
千葉県立幕張総合高等学校	3科目	40名
千葉大学教育学部 養護教諭養成課程		27名
淑徳大学総合福祉部 養護教諭養成課程		23名

学部教育（普遍教育科目）

担当科目

科目名	履修年次	授業担当（○責任者）
情報リテラシー（29）	1 年次	○田島 寛之
現代医学	1 年次	鋪野 紀好、荒木 信之

学部教育（サークル・部活動）

- General Medicine Interest Group（顧問：伊藤彰一、副顧問：鋪野紀好）
- 亥鼻ジャズ研究会（顧問：伊藤彰一）
- 亥鼻卓球部（副顧問：酒井郁子）

大学院教育（医学薬学府、看護学研究科）

担当科目

※大学院（医学薬学府）及び大学院（看護学研究科）のシラバス参照。

担当科目（学外）

科目名	実施大学等	授業担当
医学コミュニケーション学（博士前期課程） ヘルスコミュニケーション1単位 1コマ 専門職連携教育の実際と今後	京都大学 医学系研究科	酒井郁子
高度実践看護学コース 老年看護学Ⅳ老年看護システム論 2単位 3コマ 長期ケア施設でのケアシステムの構築とその実際	北里大学 看護学研究科	酒井郁子
高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱ 2コマ 長期ケアにおける Evidence Based Practice	東京大学 医学系研究科	酒井郁子
実践助産学特論 2単位 2コマ Team STEPPS—パフォーマンスを高めるために 必要なスキル—	東京医療保健大学 看護 学研究科 高度実践助産 コース	臼井いづみ

学部・大学院教育（その他）

該当なし

3. 卒後教育

新入職員研修

実施日	内容	対象職種	担当
2024/4/1	医療人としての倫理	全職種	笠井 大
2024/4/2	CCSC の利用について	研修医（医科・歯科）	臼井いづみ
2024/4/2	研修における重要事項について	研修医（医科）	伊藤 彰一
	研修医室の利用方法（メールにて周知）	研修医（医科）	総合医療教育係
2024/4/4	動脈穿刺実習	研修医（医科）	田島寛之、他アテンディング
2024/4/1	接遇研修	全職種	
2024/4/1	専門職連携（IPW）	全職種	笠井 大、酒井 郁子、渡邊朋、臼井 いづみ、井出 成美、孫佳茹、下井 俊典他
2024/4/1	メンタルヘルス	全職種	大溪俊幸、瀬尾智美、野畑美保、新井大誠
2024/4/1	感染対策	全職種	猪狩英俊、谷口敏文、谷中麻里、他
2024/4/3	合同採血研修	研修医（医科・歯科）、看護師、臨床検査技師	笠井 大、荒木信之、寺本直弥、松井慎一郎、林あゆみ、立石和也、石川、酒井 郁子、清水 郁夫、臼井いづみ、新井加代子、今井陽子、渡邊朋、栗田亜美
2024/4/8	静脈ライン確保	研修医（医科）	鋪野 紀好、他（アテンディング）
2024/4/4	輸液・シリンジポンプ・ベンチレータ等の取り扱い実習	研修医（医科）	
2024/4/5	経鼻胃管挿入実習	研修医（医科）	井上 将法、他（アテンディング）

2024/4/5	尿道カテーテル挿入 実習	研修医（医科）	佐藤美香、他（アテ ンディング）
2024/4/8	外傷初期対応（挫傷 洗浄、局所麻酔、皮膚 縫合等）	研修医（医科）	山内かづ代
2024/4/12.15.22	ICLS	研修医（医科）	富田啓介

研修医個別面談

2024 年 4 月，8 月に、千葉大学医学部附属病院で研修中の全研修医に対して個別面談を実施した。また、適宜、総合医療教育研修センター長等による個別面談を実施した。

臨床研修報告会（第 14 回）

開催日：2025 年 3 月 4 日(火)

開催場所：千葉大学医学部附属病院ガーネット・ホール

対象：千葉大学医学部附属病院の卒後臨床研修プログラム及び協力病院における

基幹型プログラムを修了予定の 2 年目研修医

（千葉大プログラム修了予定者は全員、協力病院プログラム修了予定者は任意）

研修医定例ミーティング

アテンディングミーティング（FD）

開催日	定例ミーティング	アテンディング FD	
	ミニレクチャー	担当	内容
2024/4/11	田島 寛之	荒木 信之 井上 将法 田島 寛之 清水 郁夫	大学病院と地域病院のアテンディングがワールドカフェ形式で意見交換を行い、教育に関するニーズや課題を共有した。交流が深まるとともに、今後の FD 活動の方向性に資する示唆が得られた。
2024/5/9	柴田 裕貴	荒木 信之 井上 将法 田島 寛之 清水 郁夫	短時間でも効果的な学修機会を提供する方法について事例共有を行い、ミニレクチャーや声かけの意義を確認した。限られた時間での教育の工夫について理解が深まった。
2024/6/13	菱谷 崇寿	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	学生の問題行動と隠れたカリキュラムをテーマに KJ 法で意見を整理した。行動の背景には教育環境も関与することが示され、構造的な視点の重要性が認識された。
2024/7/11	川野 明日香	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	臨床現場でのフィードバックをテーマにロールプレイなどを通して効果的な伝え方を学んだ。伝え方やタイミングの工夫が教育効果に大きく影響することが共有された。
2024/9/12	折口 慎一	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	教育活動におけるリソース活用をテーマに、各施設の工夫を共有した。教育体制の持続可能性を意識し、リソースの可視化と優先順位付けの必要性が確認された。

2024/10/10	平田 優	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	モチベーション向上をテーマに、学修者の意欲を引き出す関わり方や指導医のやりがいについて意見交換を行った。支援環境の整備の重要性が再認識された。
2024/11/14	井上 将法	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	問題行動への建設的なフィードバック方法を検討し、具体性や共感が重要であることが共有された。対応方針の統一や連携の必要性も明らかになった。
2024/12/12	松井 慎一郎	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	ドレスコードの意義について議論し、服装指導は専門職意識の涵養につながる教育的側面を持つことが確認された。施設間の共通理解の必要性も共有された。
2025/1/9	吉村 仁宏	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	大学病院と地域病院の実習の連続性について大学病院アテンディングと地域病院アテンディングが議論し、教育目標の明確化と施設間の役割分担が学修の一貫性に重要であるとの認識が得られた。
2025/2/13	栗原 俊二郎	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	学修を促進する評価のあり方について意見交換し、評価が学修支援の手段であることを再確認した。形成的評価の活用など、実践への意欲が高まった。
2025/3/13	寺本 直弥	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	1年間のFD活動を振り返り、教育実践への変化や学びを共有した。施設間の連携が教育の質向上に寄与することが再確認され、次年度への意欲が高まった。

看護職員院内研修

・基礎研修

研修名	目的	内容	開催日	人数
入職者研修	・社会人、本院の看護職員としての役割心構えを理解する ・医療人としての規範を身につける ・当院の管理体制を理解し他部門・多職種の活動を理解する	・医療人の倫理、心構え ・医療安全管理・薬剤部業務と医療安全・医療機器の安全管理 ・放射線業務管理・情報モラル・リテラシー・不正経理の防止、保険診療・院内感染対策 ・接遇・IPW・メンタルヘルス	4日間 2024/4/1, 2,3,4	126
採血合同研修	安全にシミュレーターで静脈採血ができる	・採血手順の確認 ・シミュレーター採血	2024/4/3	126
BLS 研修	突然の心停止に対する初期対応と適切なチーム蘇生を習得する	・動画講義 ・シミュレーターBLS 体験	2024/5～ 2024/11 28 回	163
輸液の基本的知識と手技体験	定められた手順に従って、安全かつ的確にシミュレーターを用いた輸液が実施できる	全 3 回 ・知識編 Part1、Part2 ・技術編 輸液ポンプ、自然滴下	① 2024/4/8, 9,10,12 ② 2024/4/16 ,17,23,24, 26,5/1 ③ 2024/5/1, 30,31	125
看護技術トレーニング	部署に必要な基本的な看護技術を安全にシミュレーターで実施できる	・採血・導尿・膀胱留置カテーテル管理・経管栄養・吸引・抹消静脈留置針挿入	通年 75 回	315
働くことと学ぶことを考えよう	「自分で考えられる新人」に向かって一歩を踏み出すことができる	・当院理念と目標管理 ・看護師の倫理 ・レディネスの発信	全 1 回 2024/4/11 ,18,25	126
経験学習を学ぼう	経験学習を理解できる	・経験学習の理解 ・実践への活用方法	全 1 回 2024/4/10 ,12,19,25, 5/2	126
重症度、医療・看護必要度 基礎編	重症度、医療・看護必要度を知り評価ができる	・重症度、医療・看護必要度とは ・評価方法	全 1 回 2024/6/4,	125
看護記録研修ー基礎編	患者のよりよい状態を目指し、患者の持てる力の発揮を支援する記録ができる	・看護記録記載基準、看護記録記載の申し合わせ ・看護記録の記載方法	11,18	125

安全な医療の提供のために	看護の責任を果たすために必要な医療安全を理解する	・動画、ワーク	全1回 2024/7/24 ,25,29	122
組織における看護の責任Ⅰ	持てる力を発揮しチームの一員として行動できる	・場面の振り返りを通してチームメンバーの役割を考える	全1回 2024/8/27 ,29, 9/3,6	112
組織における看護の責任Ⅱ	看護展開に必要な関係者を特定し情報交換をするために主体的にメンバーシップを発揮できる	・場面の振り返りを通してチームメンバーの役割を考える	全1回 2024/11/6 ,14,18,27	105
事例に学ぶSビギナー	身体的側面を理解しケアの受け手の置かれた現状を理解できる	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	2024/9～ 2025/2	104
事例に学ぶStep1	自身の持てる力を発揮して、対象者のニーズを捉える	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	2024/9～ 2025/2	105
事例に学ぶStep2	対象者の全体像を総合的にとらえることができる	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	2024/9～ 2025/2	78
既卒入職者フォローアップ研修	新たな職場に適応して働き続けることができる	・職場適応のために実施できること、自身の強みと職場での活用について	全3回 2024/4/8, 7/9,3/17	6

・スキルアップ研修

研修名	目的	内容	実施日	人数
レベルⅠ 人工呼吸器に触れてみよう	人工呼吸器の仕組みや基本的操作を学ぶ	・人工呼吸器の仕組みと基本的操作、人工呼吸器装着中の患者に対する看護のポイント	全1回 2024/11/1 1,20	26
レベルⅡ 実践に活かす酸素療法	酸素デバイスの特徴を知り、適切な酸素療法を実施できる知識を養う	講義：酸素療法の基礎知識 演習：酸素デバイスの使用方法 事後課題：実践への活用	全1回 2024/9/27 ,10/24	24
レベルⅡ 褥瘡 予防に必要なポジショニングと基本のコツ	ポジショニングの方法、良肢位を体験し、日々の看護ケア・褥瘡予防に活かす	・事前：褥瘡予防ケアの動画視聴 ・ポジショニング体験	全1回 2024/9/18 ,10/2	31
レベルⅡ ストーマケアの基本	ストーマケアに必要なアクセサリ、装具について簡単な特徴を知る	講義&体験：装具やアクセサリに実際に触れてみる	全1回 2024/11/2 8	22

		装具の特徴を実際にみて理解する		
レベルⅢ アセスメントの基本を学び直そう	アセスメントについて学び直し実践の質を向上できる	身体面に焦点をあてたアセスメントができる	全 3 回 2024/9/9, 11/11,2/2 5	3
レベルⅢ 実践に活かす！ 気道管理～人工気道を中心に	人工気道が挿入されている患者の気道管理に必要な知識を養う	・シミュレーターによる口腔ケアや人工気道の体験 ・実践上の課題検討	全 1 回 2024/12/6	9
レベルⅢ この褥瘡どうケアする？褥瘡の評価と局所ケア	DESIGN-R2020 を使用して褥瘡を正しく評価し、局所ケアを選択できる	症例検討：DESIGN-R2020 で評価、局所ケアを選択	全 1 回 2024/11/1	17
レベルⅢ じぶんらしく生きる を支える記録を書こう	看護の質向上のために「看護実践が見える」記録が記載できる	・当院の看護記録の現状と課題 ・看護記録モデルに基づいた記録の書き方、具体的記録方法と実施	全 1 回 2024/9/20 ,27	46
レベルⅢ こんな時どうする？倫理的ジレンマをじっくり検討してみよう	日常の看護実践における倫理的課題への対応のプロセスと事例検討を通して体験し、看護師の役割を学ぶ	第 1 回「看護倫理」レクチャー 第 2～6 回 事例検討 第 7 回：りんりんカフェ	全 7 回 2024/6/20 ,8/1,9/12, 10/17,11/ 21,2025/1 /6	10
全看護職員 今だから考える看護と倫理	看護倫理について改めて考える	外部講師による講義	全 1 回 2025/3/10	51
レベルⅢ 業務プロセスに着目したインシデントの分析方法 (POAM 分析①)	業務プロセスで起こるインシデントの分析手法を学び、業務・仕組みの改善が必要であることを理解する。	・プロセス型のインシデント事例の選択、ミスのあったプロセスの抽出方法と標準プロセスやルールを説明する	全 1 回 2024/7/31	28
レベルⅢ 業務プロセスに着目したインシデントの分析手法 (POAM 分析②)	POAM 分析について正しく理解し、部署で発生した事例を分析し、効果的な対策に結びつけることができる。	事前課題:POAM①受講 ・プロセス型インシデントの分析シートによる事例分析 事後課題： POAM 分析実施	全 1 回 2024/9/13	19
レベルⅣ 問題解決の基本的な考え方を学ぶ	身近にある問題をとらえて問題解決のプロセスを学ぶ	・問題解決の考え方とプロセスに沿って事例を検討	全 4 回 2024/6/25 ,7/22,9/10 ,11/19	3

レベルⅣ 事例に学ぶ step 3	病院の理念に基づいた看護 の観点から検討する	第1回レクチャー 第2～6回 事例検討	全7回 2024/10/2 2,11/8,26, 12/10,17, 2025/1/14	3
レベルⅣ エビデンスに基 づいた看護改善 のすすめ	エビデンスに基づいた看護 改善の重要性を理解して看 護の質の向上を図る	第1回 講義 オリエンテ ーション 第2回 中間報告 第3回 最終報告	全3回 8/2,10/4,3 /7	8

・要件研修

学習支援につい て学ぼう＊プリ セプター・シニ アプリセプター 準備編	学習支援に必要な知識を学 び、学習支援者のありたい 姿を描ける	・生涯学習 ・新人教育の考え方 ・学習支援者のあるべき姿	全1回×8 2024/7/23 ,12/16, 2025/1/15 ,2/12,26,3 /5,10,27	138
学び合う組織に なるために	学び合う組織になるために 経験学習を実践に活用する	・経験学習 ・リフレクション実施 ・学び合い促進の取組み	全3回 2024/7/10 ,11/13,20 25/2/7	10
プリセプター研 修 実践編	プリセプターに求められる 能力を発揮して役割を担う	・振り返り（内省）の支援 ・教育する力の課題	全3回 2024/6/3, 12,21,10/ 1,7,29,20 25/1/24	96
シニアプリセプ ター研修 実践編	シニアプリセプターに求め られる能力を発揮して役割 を担う	・振り返り（内省）の支援 ・教育する力の課題	全3回 2024/6/5, 10,10/21, 30,2025/1 /24	48
レベルⅢ リーダーシップ の基本を学ぼう	自己理解を促し、必要な知 識や技量、態度を習得する	・リーダーシップとは ・チームとリーダーの機 能・実践の振り返り	全4回 2024/7/19 ,8/20,10/8 ,2025/11/ 20	25
レベルⅣ チームリーダー としてリーダー シップを発揮す るために	自己のリーダーシップの特 徴を自覚してチームを目標 に向けて導くことができる	・リーダーシップとは、 ・リーダーシップに必要な スキル ・実践の振り返り	全4回 2024/6/26 ,7/30,10/9 ,12/18	14

新任副看護師長研修	副看護師長の職務遂行のための基盤をつくり、職務を果たすための基礎力を養う	・副看護師長の役割と責務・目標管理 ・看護管理実践事例検討 ・判断過程の振り返り	全 10 回 2024/5/30,6/27,7/25,9/26,10/3,11/28,12/26,2025/1/30,2/27,3/11	8
シニアナースエドゥケーター養成研修	学習支援の知識やスキルをブラッシュアップし、根拠に基づき現状に即した学習支援が展開できる	・成人学習、生涯学習 ・人材育成のキホン ・リーダーと目標管理 ・面談の振り返り ・ファシリテーター	全 6 回 2024/7/10,8/7,9/2,12/2,2025/1/15,2/12	5
看護師長研修	看護師長に求められる能力を理解し、看護管理実践の知識を得て部署で実践する	①ハラスメント防止 ②部署の課題の取組共有 ③看護部短期目標評価と次年度の課題抽出	全 3 回 2024/12/11,2025/1/22,2/5,19	33
重症度、医療・看護必要度：診療報酬改定のポイント	令和 6 年診療報酬改定によるの変更点を理解する	・変更点と注意事項 ・評価項目と考え方 ・評価の方法	2024/6/1～30 動画講義	596
認知症看護	認知症看護についての基本を学ぶ	・アセスメントと援助方法、行動心理症状 BPSD、せん妄予防と対処法・倫理的問題と意思決定支援	2025/1～3 動画講義	56
中途採用者入職研修	新採用者入職時研修に準ずる		通年 27 回	23
長期休養からの復帰時研修	改めて当院の機能と役割を確認する	入職者研修に準ずる	通年 27 回	24
看護補助者との協働を推進するための研修：看護師対象	看護補助者と協働推進するために必要な知識や考え方を理解し役割分担や業務指示に活用する	看護補助者の業務と役割、協働推進のための考え方と役割分担 業務指示について	長期休業からの復帰者研修で実施	24
看護補助者研修	チームの一員として、看護補助者の持てる力を発揮することができる	看護補助者の役割、協働 感染管理：清掃、N95 マスク着脱方法の実際	全 1 回 2025/2/5,13,20	88

看護師特定行為研修

期間	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 6 日	
受講者数	21 名	
	院内受講者 9 名 院外受講者 12 名	
	初回受講者 9 名 科目履修者 12 名	
科目別受講者数	97 名（延べ人数）	
循環器関連		6
循環動態に係る薬剤投与関連		7
感染に係る薬剤投与関連		4
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		4
血糖コントロールに係る薬剤投与関連		4
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		2
皮膚損傷に係る薬剤投与関連		3
透析管理関連		4
術後疼痛管理関連		2
動脈血液ガス分析関連		5
呼吸器（気道確保に係るもの）関連		3
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連		5
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		6
心嚢ドレーン管理関連		5
胸腔ドレーン管理関連		5
腹腔ドレーン管理関連		1
創部ドレーン管理関連		4
創傷管理関連		9
ろう孔管理関連		5
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		6
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		4

特定行為研修修了者フォローアップ研修

日 時	2025 年 3 月 22 日(土) 9:00～13:00
場 所	千葉大学医学部附属病院 セミナー室 3
参加者	2020 年度～2023 年度の当研修機関の修了者 34 名
目 的	特定行為研修で学んだ知識・技術の維持・向上、修了者の情報交換の機会とする
内 容	講師・担当
	(講義)
【情報提供】特定行為研修修了者の現状	新井加代子
【報告】研修の現状、アンケート結果	今井陽子
【活動報告】研修修了後の活動	鈴木里恵（帝京大学ちば総合医療センター 根本かおり（日本医科大学千葉北総病院）
【情報交換】	
【体験型ワーク】	今井陽子
【事例検討】個人ワーク・グループワーク ● 病態理解と判断、治療ケアプラン ● 酸素療法について	講師 今枝太郎医師

卒後教育（その他）

- なし

4. 試験業務

web-based test (wbt) (医学部)

学部教育（医学部）において、臨床実習、演習系科目を除く 45 科目の学生評価において wbt を実施した。また、6 年次の総合統一試験（11/13（月）～14（火）、2 日間・400 問）も wbt を活用し、実施した。

wbt 実施数

		本試験数	追・再試験数
1 年	専門基礎科目	2	1
1 年	基礎医学系ユニット	5	3
2 年	基礎医学系ユニット	12	11
3 年	基礎医学系ユニット	6	5
	臨床医学系ユニット	10	7
4 年	臨床医学系ユニット・CC ベーシック	11	5
	社会医学系ユニット	3	2
	合 計	49	34

共用試験（医学部）

実施日	内容	対象
2024/9/14（土）	臨床実習前 OSCE（本試験）	4 年次生
2024/10/4（金）	CBT（本試験）	4 年次生
2024/10/26（土）	臨床実習後 OSCE（本試験）	6 年次生
2024/11/1（木）	CBT（再試験）	4 年次生
2024/11/29（金）	臨床実習後 OSCE（再試験）	6 年次生

研修医選抜試験（医学部附属病院）

実施日	内容	受験者数
2024/8/11（日・祝）	選抜試験 1 期（面接試験）	92 名
2024/8/16（金）	選抜試験 2 期（面接試験）	91 名
2024/8/17（土）	選抜試験 3 期（面接試験）	90 名

マッチング結果

プログラム名		定員					中間	マッチ者	2次採用	辞退者等	採用予定者
医科	大学病院 スタート	15	8	14(1)		2(0)	12 (1)				
	協力病院 スタート	30	7	30(11)		1(1)	29(10)				
	産婦人科	2	1	1(0)	—	0(0)	1(0)				
	小児科	2	1	1(0)		0(0)	1(0)				
	合 計	49	17	46(12)	—	3(1)	43(11)				

※ 2025 年度に卒後臨床研修を開始する研修医。() 内の数字は千葉大生の数。

基本的臨床能力評価試験（研修医）（医学部附属病院）

千葉大学医学部附属病院内で研修中の研修医のうち、希望者が、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する基本的臨床能力評価試験（GM-ITE）を受験した。

実施日	内容	対象
2025/1/21（火）	基本的臨床能力評価試験（GM-ITE）	研修医

5. FD 実施

医学教育リトリート（医学部）

日時：20224 年 8 月 19 日（月） 13:00～17:00

会場：医学系総合研究棟 第 2 講義室（メイン会場）・グループ学習室

目的：千葉大学の理念、千葉大学医学部のミッション、医学教育分野別評価基準に照らし合わせて千葉大学医学部の教育を検証し、改善に向けての方針を策定するとともに、そのために必要な能力を習得する。

	【内容】	【担当】
13:00	開会の辞	三木隆司
13:05	医学教育分野別評価（JACME）年次報告書（案）説明	金田篤志
13:20 13:35 13:50	科目紹介（グッドプラクティス） ・科目「生化学（遺伝・タンパク生化学）」 ・科目「運動器ユニット（臨床病態治療学Ⅰ）」 質疑応答	岩瀬克郎 菱谷崇寿
14:00	事業紹介 ① 「地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム」 ② 「高度な連携実践能力を有する人材養成と双方向情報システム構築による持続的かつ先導的な包括的臨床教育研究支援プログラム」	鋪野紀好 笠井大
14:30	ワークショップ①「学習者評価の基本を考えるー形成的評価と総括的評価の導入と実践」	医学教育研究室 （笠井、山内、小野寺、他）
15:50	ワークショップ②「卒前医学教育を「カイゼン」の視点で最適化するー働き方改革時代でのアップデート」	医学教育研究室 （鋪野、塚本、清水、他）
17:00	終了、ポストアンケート、解散	

参加者一覧

グループ	研究領域・診療科等	職名	参加者氏名
1	代謝生理学	教授	三木 隆司
	腫瘍病理学	教授	池原 譲
	公衆衛生学	講師	山崎 慶子
	疾患システム医学	特任助教	中田 雄一郎
	医学科	学生（2年）	岡越 永莉
	医学教育学	講師	笠井 大 ◎
2	発生再生医学	教授	斎藤 哲一郎
	環境生命医学	准教授	鈴木 崇根
	病原細菌制御学	准教授	清水 健
	遺伝子生化学	講師	岩瀬 克郎
	医学科	学生（1年）	川口 龍成
	医学教育学	特任助教	小野寺 みさき ◎
3	機能形態学	教授	山口 淳
	法医学	准教授	千葉 文子
	細胞分子医学	講師	大日向 康秀
	環境生命医学	助教	成田 都
	医学科	学生（1年）	門田 友宏
	総合医療教育研修センター	特任助教	木村 康彦 ◎
	医学教育学	特任助教	高橋 在也 ◎
4	環境労働衛生学	教授	諏訪園 靖
	病態病理学	准教授	岸本 充
	診断病理学	准教授	松坂 恵介
	分子腫瘍学	特任講師	中川 拓也
	医学科	学生（1年）	門田 友宏
	医学教育学	特任助教	高橋 在也 ◎
	地域医療教育学	特任教授	山内 かづ代 ◎
5	薬理学	教授	安西 尚彦
	分子ウイルス学	准教授	齋藤 謙悟
	イノベーション再生医学	准教授	高山 直也
	人工知能（AI）医学	特任講師	露崎 弘毅
	医学科	学生（2年）	原田 千穂
	医学教育学	講師	笠井 大 ◎

6	実験免疫学	教授	木村 元子
	薬理学	准教授	橋本 弘史
	認知行動生理学	助教	廣瀬 素久
	医学科	学生（年）	萱原 慎太郎
	医学教育学	特任助教	小野寺 みさき ◎
7	免疫発生学	教授	平原 潔
	感染生体防御学	准教授	彦坂 健児
	分子病態解析学	助教	山形 一行
	総合医療教育研修センター	特任助教	木村 康彦 ◎
	医学教育学	特任助教	高橋 在也 ◎
8	皮膚科学	教授	猪爪 隆史
	こどものころ診療部	准教授	佐々木 剛
	口腔科科	准教授	笠松 厚志
	医学教育学	特任助教	高橋 在也 ◎
	地域医療教育学	特任教授	山内 かづ代 ◎
9	救急集中治療医学	教授	中田 孝明
	泌尿器科学	診療准教授	佐塚 智和
	内分泌代謝・血液・老年内科学 （代謝内科）	助教	井出 真太郎
	総合医療教育研修センター	特任教授	清水 郁夫 ◎
10	小児外科学	講師	小松 秀吾
	和漢診療学	特任助教	森 瑛子
	地域医療教育学	特任准教授	鋪野 紀好 ◎
11	耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	准教授	米倉 修二
	小児病態学	講師	高谷 具純
	脳神経外科	助教	須田 泉
	医学教育学	特任助教	田島 寛之 ◎
12	内分泌代謝・血液・老年内科学 （血液内科）	准教授	堺田 恵美子
	整形外科	講師	中村 順一
	精神神経科／総合医療教育研修 センター	特任助教	中川 優
	医学科	学生（5年）	中橋 大義
	総合医療教育研修センター	特任教授	清水 郁夫 ◎

13	消化器内科	講師	大山 広
	腎臓内科／総合医療教育研修センター	特任助教	吉村 仁宏
	医学科	学生（5年）	斉藤 弘峻
	地域医療教育学	特任准教授	鋪野 紀好 ◎
14	精神医学	准教授	新津 富央
	先端応用外科学	講師	丸山 通広
	産婦人科学	助教	尾本 暁子
	呼吸器外科／総合医療教育研修センター	特任助教	松井 由紀子
	医学教育学	特任助教	田島 寛之 ◎
総括	医学教育学	教授	伊藤 彰一

◎：タスクフォース

FD 一覧（医学部授業関連等）

テーマ	実施日時	実施場所	実施形態 (講演、研修、 ワークショップ等)	目的・目標・実施内容	講師	対象者	参加 人数
導入 PBL テュートリアル説明会	2024/6/13, 17, 18	医学系総合研 究棟 セミナ ー室1	講演	チューターガイド、評価方 法	伊藤	臨床テュートリア ルチューター	12
医学教育リトリート	2024/8/19	医学系総合研 究棟	講演、 ワークショップ	医学教育分野別評価、授 業実践、地域臨床教育、 学修者評価、教育改善	医学教育研究室 員	医学部教員、学 部学務委員会委 員等	73
地域のための指導医講習会 in 千葉	2024/6/30, 7/7	医学系総合研 究棟	講演、 ワークショップ	臨床研修全般(目標、教 育法・指導法、評価法、ス トレス対応など)	伊藤、山内、鋪 野、荒木、清水、 田島、曾我井、村 山、杉田、青木、 勝山、山田、他	臨床研修に関わ る指導医	31
千葉県臨床研修指導医養成講 習会	2024/11/16, 17	病院教育研修 棟・CCSC	講演、 ワークショップ	臨床研修全般(目標、教 育法・指導法、評価法、ス トレス対応など)	伊藤、笠井、他	臨床研修に関わ る指導医	32
千葉大学卒後臨床研修指導医 養成ワークショップ	2024/2/15, 16	病院教育研修 棟・CCSC	講演、 ワークショップ	臨床研修全般(目標、教 育法・指導法、評価法、ス トレス対応など)	伊藤、笠井、他	千葉大学医学部 附属病院卒後臨 床研修プログラム 指導医	33
臨床テュートリアル説明会(精神 神経ユニット、女性生殖/成長発 達ユニット)	2024/4/9, 5/21	会議室 2・オ ンライン	講演	チューターガイド、評価方 法、概念マップ	猪爪、近藤、笠 井、伊藤	臨床テュートリア ルチューター	32

臨床テュートリアル説明会(呼吸器／循環器ユニット, 消化器ユニット, 内分泌／血液／アレ膠ユニット)	2024/9/19,10/22,11/18	オンライン	講演	テューターガイド、評価方法、概念マップ	猪爪、近藤、笠井、伊藤	臨床テュートリアルテューター	48
アテンディング FD	2024/4/11 17:30-19:00	病院教育研修棟・CCSC	研修	大学病院と地域病院のアテンディングがワールドカフェ形式で意見交換を行い、教育に関するニーズや課題を共有した。交流が深まるとともに、今後のFD活動の方向性に資する示唆が得られた。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	27
アテンディング FD	2024/5/9 17:30-19:00	病院教育研修棟・CCSC	研修	短時間でも効果的な学修機会を提供する方法について事例共有を行い、ミニレクチャーや声かけの意義を確認した。限られた時間での教育の工夫について理解が深まった。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	20
アテンディング FD	2024/6/13 17:30-19:00	病院教育研修棟・CCSC	研修	学生の問題行動と隠れたカリキュラムをテーマにKJ法で意見を整理した。行動の背景には教育環境も関与することが示され、構造的な視点の重要性が認識された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	20

アテンディング FD	2024/7/11 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	臨床現場でのフィードバックをテーマにロールプレイなどを通して効果的な伝え方を学んだ。伝え方やタイミングの工夫が教育効果に大きく影響することが共有された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	20
アテンディング FD	2024/9/12 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	教育活動におけるリソース活用をテーマに、各施設の工夫を共有した。教育体制の持続可能性を意識し、リソースの可視化と優先順位付けの必要性が確認された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	17
アテンディング FD	2024/10/10 日 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	モチベーション向上をテーマに、学修者の意欲を引き出す関わり方や指導医のやりがいについて意見交換を行った。支援環境の整備の重要性が再認識された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	21
アテンディング FD	2024/11/14 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	問題行動への建設的なフィードバック方法を検討し、具体性や共感が重要であることが共有された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	18

				対応方針の統一や連携の必要性も明らかになった。			
アテンディング FD	2024/12/12 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	ドレスコードの意義について議論し、服装指導は専門職意識の涵養につながる教育的側面を持つことが確認された。施設間の共通理解の必要性も共有された。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	18
アテンディング FD	2025/1/9 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	大学病院と地域病院の実習の連続性について大学病院アテンディングと地域病院アテンディングが議論し、教育目標の明確化と施設間の役割分担が学修の一貫性に重要であるとの認識が得られた。各	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	15
アテンディング FD	2025/2/13 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	学修を促進する評価のあり方について意見交換し、評価が学修支援の手段であることを再確認した。形成的評価の活用など、実践への意欲が高まった。	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	18
アテンディング FD	2025/3/13 17:30-19:00	病院教育研修 棟・CCSC	研修	年間の FD 活動を振り返り、教育実践への変化や学びを共有した。施設間	アテンディング	アテンディング (教育専任教員)	18

				の連携が教育の質向上に寄与することが再確認され、次年度への意欲が高まった。			
FD 臨床入門・コミュニケーションⅢ	2024/5/7, 14, 21 の 13:00-13:30	第一講義室	研修	医療面接のフィードバック	笠井, 朝比奈	臨床入門協力医師	24
FD 医師見習い体験学習指導医	11 月下旬にオンライン, オンデマンド	Zoom, オンデマンド	研修	医師見習い体験学習の指導医の役割	笠井, 朝比奈	大学病院医師、学外関連施設医師	63
臨床実習前 OSCE 医療面接ステーション評価者講習会	2024/8	医学部	研修	OSCE 医療面接評価方法	笠井	医療面接ステーション担当医師	5
臨床実習後 OSCE 医療面接ステーション評価者講習会	2024/10/15・18 15:00-17:00	病院教育研修棟・CCSC	研修	OSCE 医療面接評価方法	笠井	医療面接ステーション担当医師	6
FD メンター制度	下記のいずれか 1 回に参加 ①9/20(火) 16:00-17:00 ②10/23(月) 16:30-17:30 ③10/27(金) 16:00-17:00	①医学系総合研究棟グループ学習室 1 (304) ②医学系総合研究棟グループ学習室 1 (304) ③医学系総合研究棟グループ	研修	メンター制度について全般(目標・効果・方法等)	伊藤、小野寺	メンター候補となる医学部・附属病院在籍の講師・准教授・教授	8

		プ学習室 1 (304)					
総合統一試験 FD	2024/7/28 日 ～8/18 期間内の任意 の日程	オンデマンド 配信	研修	総合統一試験の問題作成	小野寺	総合統一試験 業務担当教員	38

FD 一覧（医学部地域医療教育 FD）

テーマ	実施日時	実施場所	実施形態 (講演、研修、 ワークショップ等)	目的・目標・実施内容	講師	対象者	参加 人数
地域医療教育 FD	2024/4/4 15:00-17:00	オンライン	研修	2024 年度年間計画 地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	15
地域医療教育 FD	2024/4/11 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナー室1	研修	地域病院アテンディング の資質・能力 「地域医療の現場から」企 画会議	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16
地域医療教育 FD	2024/4/25 15:00-17:00	オンライン	研修	研究倫理について 医学教育的研究について	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16
地域医療教育 FD	2024/5/2 15:00-17:00	オンライン	研修	地域病院アテンディング の資質・能力 「地域医療の現場から」企 画会議	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16

				地域臨床実習ほか実践準備			
地域医療教育 FD	2024/5/9 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	研修	バックワード・デザイン	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16
地域医療教育 FD	2024/5/23 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	15
地域医療教育 FD	2024/6/6 15:00-17:00	オンライン	研修	学修方略・教育技法	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	18
地域医療教育 FD	2024/6/13 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	研修	学修方略・教育技法	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/6/20 16:30-18:30	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/7/11 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	研修	学修者評価	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16
地域医療教育 FD	2024/7/18 16:30-18:30	オンライン	研修	メンタリングについて	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/7/25 15:00-17:00	オンライン	研修	臨床的 IPE について	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/8/22 15:00-17:00	オンライン	研修	医学教育学会報告	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/8/29 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16

地域医療教育 FD	2024/9/5 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	17
地域医療教育 FD	2024/9/19 16:30-18:30	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/9/26 15:00-17:00	オンライン	研修	Difficult Learner の対応	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	18
地域医療教育 FD	2024/10/3 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習ほか実践準備	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/10/10 15:00-17:00	医学系総合研究棟 会議室1	研修	地域臨床実習・中間振り返り アンプロフェッショナル行動	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/10/17 16:30-18:30	オンライン	研修	医学教育の潮流	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/10/24 15:00-17:00	オンライン	研修	シミュレーション教育	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	17
地域医療教育 FD	2024/10/31 15:00-17:00	オンライン	研修	シミュレーション教育	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/11/7 15:00-17:00	オンライン	研修	シミュレーション教育実践	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/11/14 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	研修	IPE の理論と実践(10 月 11 月で日程調整) 医療現場の D&I(IPE と調整)	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	15
地域医療教育 FD	2024/11/21 16:30-18:30	オンライン	研修	IPE の理論と実践(10 月 11 月で日程調整)	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13

				医療現場の D&I (IPE と調整)			
地域医療教育 FD	2024/11/28 15:00-17:00	オンライン	研修	シミュレーション教育実践 (学生募集?調整)	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/12/5 15:00-17:00	オンライン	研修	第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2024/12/12 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナー室1	研修	地域臨床実習(5年次)の IR 結果報告 ちば地域医療教育コンソ シアムの意見交換	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	18
地域医療教育 FD	2024/12/19 16:30-18:30	オンライン	研修	第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2024/12/26 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習(臨床実習 I) 学生アンケート結果共有	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	15
地域医療教育 FD	2025/1/9 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナー室1	研修	地域臨床実習(臨床実習 I) 次年度に向けての教育計 画立案	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	17
地域医療教育 FD	2025/1/16 16:30-18:30	オンライン	研修	シミュレーション学修	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2025/1/23 15:00-17:00	オンライン	研修	地域志向型シミュレーショ ン学修	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	16

地域医療教育 FD	2025/1/30 15:00-17:00	オンライン	研修	オンデマンドコンテンツの 公開 第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2025/2/6 15:00-17:00	オンライン	研修	地域診断に関する調査研 究報告	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2025/2/13 15:00-17:00	医学系総合研 究棟 セミナー室1	研修	地域医療教育学 FD の計 画 グローバル地域ケア GRIP+IPE	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	20
地域医療教育 FD	2025/2/20 16:30-18:30	オンライン	研修	第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2025/2/27 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習に向けたグ ッドプラクティス集の作成	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	14
地域医療教育 FD	2025/3/6 15:00-17:00	オンライン	研修	次年度活動に向けての計 画	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	13
地域医療教育 FD	2025/3/13 15:00-17:00	対面 (附属病院 3 階セミナー室 1)	研修	年間活動振り返り 地域臨床実習に向けたグ ッドプラクティス集の作成	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	18
地域医療教育 FD	2025/3/27 15:00-17:00	オンライン	研修	年間活動振り返り	地域医療教育学	地域病院アテン ディング	15

FD 一覧（附属病院看護部）

看護部学習支援委員会 看護師長、副看護師長 20 名

開催日	内容
2024/4/11 15:00～16:00	院内の教育体制の現状、年間活動目標・計画、新人看護師教育の現状
2024/5/2 15:00～16:00	教育担当副看護師長と委員会との連携 実習関連アンケート検討
2024/6/6 15:00～16:00	院内看護研究・活動報告会企画検討 実習アンケート結果分析
2024/7/4 15:00～16:00	看護研究活動報告会実施計画
2024/9/5 15:00～16:00	看護研究活動報告会査読
2024/10/5 15:00～16:00	研修評価 実習関連アンケート試行 研修支援：事例検討
2024/11/7 15:00～16:00	クリニカルラダー検討 看護研究活動報告会役割、
2024/12/5 15:00～16:00	ファシリテーターの学習促進
2025/1/9 15:00～16:00	看護研究活動報告会振り返り看
2025/2/6 15:00～16:30	看護補助者の能力評価について
2025/2/27 15:00～16:00	活動評価

臨床研修指導医講習会

地域のための指導医講習会 in 千葉（第 3 回）

開催日及び開催地

開催日：2024 年 6 月 30 日（日）、2024 年 7 月 7 日（日）

開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部医学系総合研究棟

講習会実施担当者

(1) 主催責任者	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 教授	伊藤 彰一
(2) 企画責任者	千葉大学大学地域医療教育学講座 特任教授	山内 かづ代
(3) 世話人	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 講師	笠井 大
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任教授	山内 かづ代
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任准教授	鋪野 紀好
	千葉大学大学院医学研究院医学教育学 特任教授	清水 郁夫
	千葉大学大学院医学研究院医学教育学 特任助教	田島 寛之
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	杉田 昌昭
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	青木 信也
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	勝山 陽太
	千葉大学大学院医学部非常勤講師	山田 悟史
	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医歯学教育開発センター センター長・教授	横尾 英孝

千葉県臨床研修指導医養成講習会（第 19 回）

開催日及び開催地

開催日：2024 年 11 月 16 日（土）、2024 年 11 月 17 日（日）

開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター
スキルトレーニング室

講習会実施担当者

(1) 主催責任者	千葉大医学部附属病院 総合医療教育研修センター教授 センター長 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 教授	伊藤 彰一
(2) 企画責任者	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 講師※	笠井 大
(3) 世話人	東千葉メディカルセンター 消化器内科 副部長 ☆ 1 日目 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 特任講師※ 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 特任助教※ ☆ 2 日目 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任准教授※ 千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科 特任助教※ 千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科 特任助教 ※は総合医療教育研修センター（兼任）	亀崎 秀宏 塚本 知子 田島 寛之 鋪野 紀好 松井 由紀子 吉川 寛
(4) 講師	千葉県 健康福祉部 医療整備課	井上 崇

千葉大学卒後臨床研修指導医養成ワークショップ（第 23 回）

開催日及び開催地

(1) 開催日：2025 年 2 月 15 日（土）、2025 年 2 月 16 日（日）

(2) 開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部附属病院

講習会実施担当者

(1) 講習会主催責任者	総合医療教育研修センター 教授（センター長）	伊藤 彰一
(2) 講習会企画責任者	総合医療教育研修センター 講師	笠井 大
(3) 講習会世話人	総合医療教育研修センター 教授（センター長） 〃 特任教授 〃 特任准教授 〃 講師 〃 特任助教 〃 特任助教 〃 特任助教 〃 特任助教 〃 特任助教	伊藤 彰一 清水 郁夫 鋪野 紀好 笠井 大 川野 明日香 立石 和也 松井 由紀子 吉川 寛 李 宇

FD 実施（その他）

実施日時	実施場所	内容	講師
2024/5/24	第 88 回医学教育セミナーとワークショップ	Reviving Zombies ～埋もれているゾンビ研究を論文化しよう～	野村 理, 清水 郁夫, 藤川 裕恭, 水本 潤希, 林 幹雄
2024/7/19	厚生労働省キャリア形成プログラム等運用支援事業 2024 年度第 1 回全国キャリアコーディネーター研修会	面談時に求められるスキル講座	鋪野 紀好
2024/9/22	医療の質・安全学会 医療安全管理者養成研修	医療安全のための研修の企画・運営・評価	清水 郁夫
2024/11/21	信州大学衛生管理者・安全管理者研修	リスクマネジメントと効果的な安全教育の進め方	清水 郁夫
2024/12/1	岡山大学卒後臨床研修指導医講習会	医療安全におけるコミュニケーション（コミュニケーションによる事故予防と経験からの成長）	清水 郁夫
2025/2/7	セミナー室 2	医療プロフェッショナルリズム演習（ナラティブ・メディスン）の見学・意見交換	桐山 加奈子 宮田 靖志

6. 教育管理

委員会活動・兼務

医学部／大学院医学研究院

医学教育研究室の教員は、所定の委員会に適宜オブザーバー参加して活動をサポートしている。括弧内は委員長（部会長）および医学教育研究室からの委員を示す。

- 医学部・大学院医学研究院執行部会（副学部長（入試・教育担当）：伊藤彰一）
- 自己点検・評価委員会（委員：伊藤彰一）
- 医学教育委員会（委員：伊藤彰一）
- 学部学務委員会（委員長：伊藤彰一）
 - 基礎／普遍カリキュラム部会（委員：伊藤彰一）
 - 臨床カリキュラム部会（委員：伊藤彰一）
- 学部入試委員会（委員：伊藤彰一）
- 修学資金制度委員会（委員長：伊藤彰一）
- 倫理教育委員会（委員：伊藤彰一）
- 企画戦略委員会（委員：伊藤彰一）
- 医学系総合研究棟（治療学研究棟）計画委員会（委員：伊藤彰一）
- 千葉大みらい医療基金運営委員会（委員：伊藤彰一）
- 東金九十九里地域医療センターの支援に係る検討WG（座長：伊藤彰一）
- 広報委員会（委員：鋪野紀好）
- 千葉医学会（評議員：伊藤彰一、笠井大）
- ゐのはな同窓会（理事：伊藤彰一）

医学部附属病院

総合医療教育研修センターの教員は、所定の委員会に適宜オブザーバー参加して活動をサポートしている。括弧内は委員長および総合医療教育研修センターからの委員を示す（アテンディングを除く）。

- 医学部附属病院執行部会（病院長補佐（教育担当）：伊藤彰一）
- 医学部附属病院運営会議（委員：伊藤彰一）
- 医学部附属病院実務者会議（委員：笠井大）
- 医師臨床研修管理委員会（委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、清水郁夫、田島寛之、木村康彦）
- 卒後臨床研修カリキュラム専門委員会（委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、木村康彦）
- 看護師特定行為研修管理委員会（委員長：伊藤彰一 委員：酒井郁子、笠井大、藤澤陽子、新井加代子、今井陽子、
- 看護師特定行為等管理委員会（委員：伊藤彰一、酒井郁子、清水郁夫）
 - 活動推進部会（委員：伊藤彰一、委員：藤澤陽子）
 - 手順書等審査部会（委員長：清水郁夫 委員：伊藤彰一 委員：新井加代子）
 - 実装評価部会（委員長：酒井郁子 委員：今井陽子）

- コミュニケーション戦略会議（委員：笠井大）
- 医師キャリア支援センター会議（委員：笠井大）
- 災害予防委員会（委員：笠井大）
- 将来計画・再開発検討委員会（委員：笠井大）
- 包括的せん妄ケアチーム（チーム長：酒井郁子）
- 東金九十九里地域臨床教育センター（センター長：伊藤彰一 副センター長：笠井大）
- 医療の質・安全管理委員会（委員：清水郁夫）
- 事例検討委員会（委員：清水郁夫）
- 感染制御マネージャー（ICM）リンク会議（委員：田島寛之）

千葉大学（医学部、医学部附属病院以外）

- 看護学研究科附属専門職連携教育研究センター（センター長：酒井郁子 運営委員：笠井大、伊藤彰一、臼井いづみ）
- イノベーション教育推進専門委員会（委員：伊藤彰一）
- FD 推進専門委員会（委員長：伊藤彰一）
- 国際教育センター運営会議（委員：伊藤彰一）
- 国際教育センター派遣推進部会（委員：伊藤彰一）
- 国際教育センター短期留学支援専門委員会（副委員長：伊藤彰一）
- アカデミック・リンク・センター（兼務教員：伊藤彰一）
- 亥鼻地区 ENGINE 推進ワーキンググループ（委員長：伊藤彰一 委員：塚本知子）
- 亥鼻地区事業場代議員（医学研究院・特定雇用：小野寺みさき）
- ソフトウェア・ライセンス専門部会（委員：小野寺みさき）
- 千葉大学 国際未来教育基幹キャビネット スマートラーニングセンター運営会議（委員：小野寺みさき）
- 千葉大学情報危機対策チーム（C-CSirt）（医学研究院・医学部部局メンバー：小野寺みさき）
- グローバル・キャンパス推進機関会議（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院執行部会（副研究院長：酒井郁子）
- 看護学研究院大学院教務委員会（委員：酒井郁子）
- 看護実践学コース検討部会（委員長：酒井郁子）
- 看護学研究院国際活動委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院学術推進企画委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院点検評価委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院長期計画委員会（委員：酒井郁子）
- 専門職連携教育研究センター将来構想委員会（委員長：酒井郁子 委員：伊藤彰一）

千葉大学以外

- 文部科学省高等教育局医学教育課
 - 技術参与（荒木信之）
- 厚生労働省医政局看護課

- 特定行為研修の組織定着化支援事業推進に係るワークショップ等開催事業実施団体の公募に係る評価委員会（委員：伊藤彰一）
- NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク（常務理事：伊藤彰一）
- NPO 法人千葉県キャリアアップ就職支援センター（センター長：伊藤彰一）
- 千葉県医師会 医学会運営委員会（副委員長：伊藤彰一）
- 千葉県健康福祉部医療整備課
 - 千葉県臨床研修審査専門員（清水郁夫）
 - 医師のキャリア形成に係るワーキンググループ（委員：伊藤彰一）
- 千葉県医師キャリアサポーター（メンバー：鋪野紀好）
- 医療系大学間共用試験実施評価機構
 - 医学系 OSCE 関連委員会
 - 医学系 OSCE 推進会議（委員長：伊藤彰一）
 - OSCE のあり方検討 WG（副委員長：鋪野紀好 委員：伊藤彰一）
 - 事後評価解析委員会（委員長：伊藤彰一）
 - 到達基準検討委員会（委員長：伊藤彰一 委員：清水郁夫）
 - 実施管理委員会（副委員長：鋪野紀好 委員：伊藤彰一）
 - 認定評価者小委員会（委員：伊藤彰一）
 - 認定標準模擬患者小委員会（副委員長：山内かづ代）
 - 学修評価項目検討 WG（委員：伊藤彰一）
 - 試験信頼性妥当性検討委員会（委員：伊藤彰一）
 - 合理的配慮支援委員会（委員：清水郁夫）
- 総合病院国保旭中央病院
 - 総合病院国保旭中央病院内科専門研修プログラム管理委員会（委員：伊藤彰一）
- 厚生労働省医師試験委員会
 - 日本語診療能力調査（委員：鋪野紀好）
- 日本専門医機構
 - 総合診療専門研修 広報部会（委員：鋪野紀好）
 - 総合診療専門研修 研修医・専攻医支援部会（委員：鋪野紀好）
 - 総合診療専門医認定委員会（委員：鋪野紀好）
- 日本医療教育プログラム推進機構
 - 基本的臨床能力評価試験 実行委員会（委員：鋪野紀好）

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

- 千葉地域医療教育統括会議（委員：伊藤彰一）
- 千葉地域医療教育推進委員会（委員長：伊藤彰一 委員：鋪野紀好、清水郁夫、荒木信之）
- 千葉地域医療教育評価委員会（委員：山内かづ代、田島寛之）

質の高い臨床教育・研究の確保事業

- 臨床教育研究統括会議（委員：伊藤彰一、山内かづ代）

- 臨床教育研究推進委員会（副委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、吉田幸恵、鋪野紀好、荒木信之）
- 臨床教育研究評価委員会（委員：山内かづ代、清水郁夫、田島寛之）

模擬患者養成・管理

千葉大学いのはな SP 会（日本語模擬患者）

2024 年度末時点で計 24 名の模擬患者がいのはな SP 会に所属。火曜日午後に定例でミーティングを行っている。2024 年度は以下の授業・試験に参加した。

担当教員：笠井 大、山内 かづ代 担当職員：根岸 智子

種別	名称	対象学部	対象年次
授業	臨床入門・コミュニケーションⅡ	医学部	3 年次生
授業	臨床入門・コミュニケーションⅢ	医学部	4 年次生
授業	IPE Step 4	医・薬・看護学部	4 年次生
試験	臨床実習前 OSCE	医学部	4 年次生
試験	臨床実習後 OSCE	医学部	6 年次生
試験	臨床実習後 OSCE, 追試	医学部	6 年次生

英語模擬患者

2024 年度末時点で計 17 名の英語模擬患者が協力者として登録されている。2024 年度は以下の授業・試験に参加した。

担当教員：塚本知子、Nusrat Fatema 担当職員：松本 徹

種別	名称	対象学部	対象年次
授業	医学英語Ⅰ・Ⅱ（EMPⅠ・Ⅱ）	医学部	1・2 年次生
試験	医学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（EMPⅠ・Ⅱ・Ⅲ）	医学部	1・2・3 年次生
授業	医学英語アドバンスト(AME)	医学部	4～5 年次生

7. 国際交流

派遣実績（医学部）

協定校（非協定校含む）	所在国	派遣（人）	派遣学年	内容
イリノイ大学 シカゴ校	アメリカ	4	5 年次(4)	臨床実習留学
ユタ大学	アメリカ	1	5 年次	臨床実習留学
トロント大学	カナダ	2	5 年次	臨床実習留学
インジェ大学	韓国	1	5 年次	臨床実習留学
南洋理工大学	シンガポール	2	5 年次	臨床実習留学
カリフォルニア大学 アーバイン校	アメリカ	5	5 年次 (4)、4 年 次(1)	臨床見学実習
デュッセルドルフ 大学	ドイツ	2	5 年次 (1)、6 年 次(1)	臨床実習留学
東フィンランド大学	フィンランド	1	5 年次	臨床実習留学
レスター大学	英国	2	5 年次	臨床実習留学
トーマスジェファー ソン大学	アメリカ	3	5 年次	臨床導入プログラム
ハワイ大学	アメリカ	5	5 年次	シミュレーション 研修プログラム
レスター大学	英国	2	5 年次	GRIP プログラム
オーフス大学	デンマーク	1	3 年次	サマースクール
IFMSA（非協定校）	フィンランド	1		

受入実績（医学部）

協定校	所在国	受け入れ（人）	受け入れ学年	内容
インジェ大学	韓国	1		臨床実習留学
マヒドン大学	タイ	3		臨床実習留学
国立台湾大学	台湾	1		臨床実習留学
国立陽明交通大学	台湾	1		臨床実習留学
南洋理工大学	シンガポール	1		臨床実習留学
コートダジュール大学	フランス	2		臨床実習留学
デュッセルドルフ大学	ドイツ	3		臨床実習留学
インドネシア大学	インドネシア	1		臨床実習留学
ハサスディン大学	インドネシア	5		臨床実習留学
IFMSA(非協定校)	スロベニア	1		

受入実績（附属病院看護部）

見学日	テーマ	見学者	内容
3月10日	災害対策 災害対応	シンビオシス国際大学：デザイン専攻、商業学専攻、看護学専攻 アルスター大学：看護学） 8名	DPAT、DMAT 院内災害対策
3月17日	日本における高度急性期病院の役割機能と看護職の活動	シンシナシティ大学 アルスター大学 看護学部 15名	老年看護 施設見学、 交流会

海外視察と留学協定締結交渉（医学部・看護学部・IPERC等）

<訪問>

期間	内容	訪問先（国）	訪問者
2024/10/14-16	医療系シミュレーション教育意見交換、学生アンバサダーとの意見交換	アラバマ大学 タスカルーサ校（米国）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也
2024/10/17-19	MOU 締結書類手渡し、GRIP プログラム意見交換	レスター大学（英国）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也
2024/10/20-24	グローバル IPE 実施可能性について意見交換、IPE 実施状況視察、保健省意見交換、MOU 締結交渉	カタール大学（カタール）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也

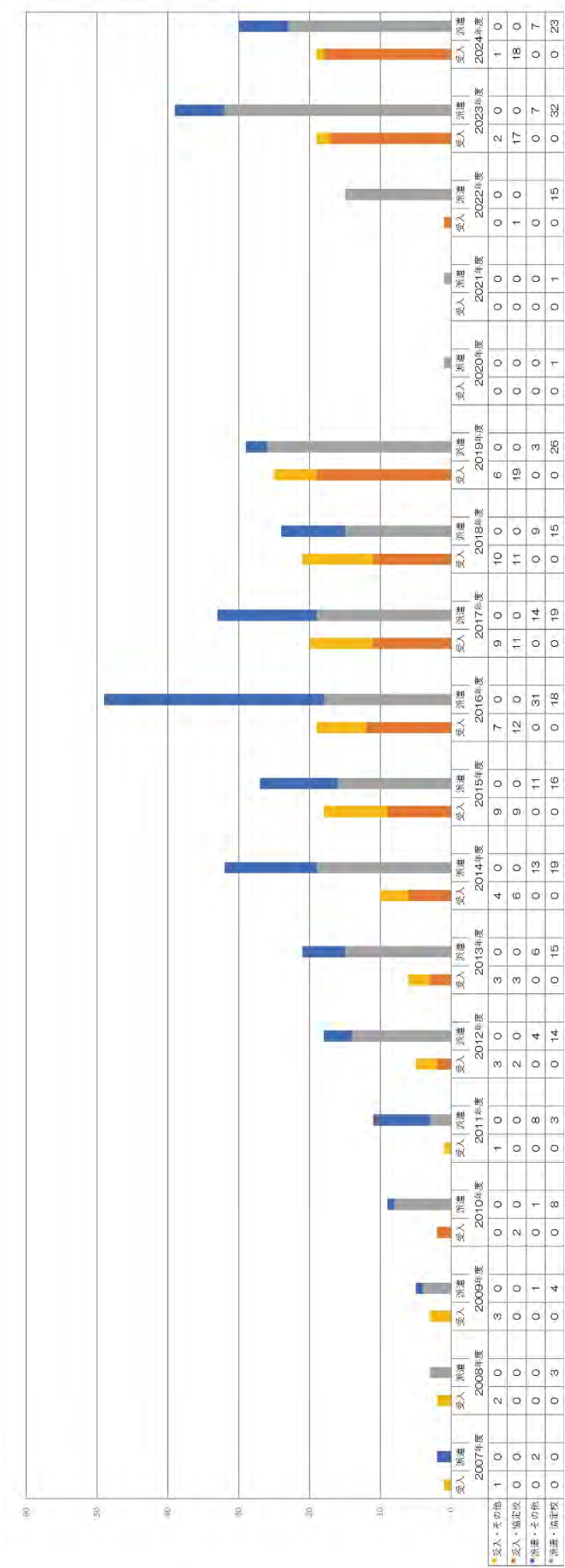
2024/10/25-26	グローバル IPE 実施可能性についての意見交換、IPE フィールドコミュニティクリニック視察、MOU 締結交渉	フリーステート大学（南アフリカ）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也
2024/10/27-29	グローバル IPE 実施可能性についての意見交換、大学病院視察、GP との意見交換、MOU 締結交渉	ハノイ医科大学（ベトナム）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也
204/10/30-11/1	GRIP プログラムのコンテンツとロジの調整、せん妄ケアシミュレーション教育視察	モナシュ大学（オーストラリア）	酒井郁子、飯田貴映子、野崎章子、辻野拓也

< 来校 >

期間	内容	大学（国）	訪問者
2024/4/26-27	①レスター千葉ジョイントセミナー②留学プログラム意見交換	レスター大学（英国）	Keerig Maria, Sood Anil
2024/5/30	①インジェ千葉合同医学教育セミナー②留学プログラム意見交換	インジェ大学（韓国）	Bo Young Yoon, 他教員 6 名、学生 3 名
2026/6/21	①留学プログラム意見交換	ハサヌデイン大学（インドネシア）	Rina Masadah,
2024/7/25	①留学プログラム説明会 ②意見交換	ハワイ大学（アメリカ）	Benjamin W Berg,
2024/10/3	①留学プログラム説明会 ②意見交換	レスター大学（英国）	Robert Crane, Tamara Thompson
2024/10/18	①留学プログラム説明会 ②意見交換	リオグランデドスール大学（ブラジル）	森口エミリオ秀幸
2024/11/7	①ユタ千葉放射線科合同セミナー ②留学プログラム意見交換	ユタ大学（米国）	蓑島聡, Megan Mills, Hediye Baradaran, Brian Chan, Drew Artrip, Matthew Simpson

2024/11/18	①講演会②留学プログラム意見交換	イリノイ大学 (米国)	Khaled Abdelhady
2025/2/27	①大学間協定意見交換 ②留学プログラム意見交換	リオグランデ ドスール大学 (ブラジル)	森口エミリオ秀幸
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	フリーステイト大学 (南ア フリカ)	Elizabeth Cornelia Janse van Vuuren, Ronelle Jansen
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	カタール大学 (カタール)	Alla El-Awaisi, Sawsan Ibrahim Almukdad
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	ガジヤマダ大 学 (インドネ シア)	Uki Noviana, Sri Mulyani
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	ハノイ医科大 学 (ベトナム)	Nguyen Thi Lan Anh, Truong Quang Trungh
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	レスター大学 (イギリス)	Maria Keerig, Samuel Adcock
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム (亥鼻記念講堂) ②大学病院視察	シンビオシス 国際大学 (インド)	Lelith Daniel

千葉大学医学部国際プログラム留学生推移



8. 広報活動

医学部／医学部附属病院（見学会）

実施日	対象	内容	場所	担当
2024/6/22	医学部後援会	医学系総合研究棟見学	医学系総合研究棟（治療学研究棟）	小野寺 みさき
2024/6/22	医学部後援会	講演「医学教育の取り組みについて：医学教育モデル・コア・カリキュラム」	みのはな記念講堂	伊藤 彰一
2024/7/4	教育学部附属中学校の生徒および教職員	教育学部附属中学校見学会	千葉大学医学系総合研究棟 3 階 第 2 講義室	伊藤 彰一、山内かづ代、鋪野紀好、荒木信之

医学研究院／医学部／医学部附属病院（広報資料）

- 該当なし

Web ちば臨床研修病院ナビ

実施日	対象	内容	場所	担当
2024/5/25	医学生	Web ちば臨床研修病院ナビ 2024 夏	オンライン	【千葉大学】 伊藤 彰一、田島 寛之、他 【NPO 法人 千葉医師研修支援ネットワーク】 伊藤 彰一、鋪野 紀好、小野寺 みさき、木村 康彦、他
2025/3/8	医学生	Web ちば臨床研修病院ナビ 2025 春	オンライン	【千葉大学】 伊藤 彰一、笠井 大、他 【NPO 法人 千葉医師研修支援ネットワーク】 伊藤 彰一、鋪野 紀好、小野寺 みさき、木村 康彦、他

千葉大学医学部附属病院看護部オープンホスピタル

開催日	内容	参加者
2024/ 8 / 2, 6, 16, 20, 27	病院・看護部紹介 新人看護師教育体制紹介 部署見学・看護体験 看護師との交流会	157 名
2025/ 2 /14, 20, 27		183 名
2025/ 3 / 6, 13, 19 , 27		

広報活動（その他）

・松山泰，錦織宏，伊藤彰一，斎藤有吾「試験・評価を学習者の味方に!!」『医学界新聞』第 3560 号、2024 年 4 月 9 日

https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2024/3560_02

・鋪野紀好 NHK BS4K「総合診療医ドクターG NEXT」

(3)「左胸が痛い」

2025 年 3 月 30 日（日）11:30～12:15

9. 学会活動

日本医学教育学会

- 代議員：伊藤彰一、山内かつ代、鋪野紀好、臼井いづみ
- 医学教育専門家委員会委員：伊藤彰一
- 日本医学教育学会 医学教育専門家拡大 WG 委員：伊藤彰一
- 教育病院委員会委員：伊藤彰一
- 学術大会運営委員会副委員長：鋪野紀好
- 広報・情報基盤委員会委員：臼井いづみ
- 多職種連携教育委員会委員：臼井いづみ
- 日本保健医療福祉連携教育学会
 - 副理事長：酒井郁子
 - 編集委員会委員長：酒井郁子
- 日本神経放射線学会
 - 代議員：伊藤彰一
 - 広報委員会委員：伊藤彰一
 - 渉外委員会委員：伊藤彰一
 - 法人化推進委員会委員：伊藤彰一
- 日本内科学会
 - 内科医リカレント教育ワーキンググループ委員：鋪野紀好
- 日本病院総合診療医学会
 - 評議員：鋪野紀好
 - 病院総合診療専門医研修プログラムワーキンググループ委員：鋪野紀好
 - 病院総合診療専門医試験委員会実行委員長：鋪野紀好
- 日本プライマリ・ケア連合学会
 - 代議員：鋪野紀好
 - プライマリ・ケア教育委員会副委員長：鋪野紀好
 - 多職種連携委員会委員：酒井郁子
- ACP Japan Chapter（米国内科学会日本支部）
 - Physician's Well-being Committee 委員長：鋪野紀好
- 千葉東洋医学シンポジウム
 - 世話人：伊藤彰一
- 看護系学会等社会保険連合
 - 理事：酒井郁子
 - 介護報酬体系のあり方に関する検討委員会 委員長：酒井郁子
- 日本看護科学学会
 - 研究・学術推進委員会委員：酒井郁子
- 文化看護学会
 - 広報担当理事：酒井郁子
- 千葉看護学会
 - 監事：酒井郁子

- 評議員：臼井いづみ
- 若手研究者育成委員会委員：臼井いづみ
- 学術集会企画委員：今井陽子
- 日本看護学教育学会
 - 評議員：酒井郁子
- 看護系学会協議会
 - 理事（高度実践看護師制度の推進担当）：酒井郁子
- 医道審議会
 - 専門委員：酒井郁子
- 日本看護協会
 - 人生 100 年時代の看護職キャリア継続支援ツール検討委員会委員：酒井郁子
- 日本看護シミュレーションラーニング学会
 - 理事：臼井いづみ
 - 研修企画委員会委員長：臼井いづみ
 - 第 6 回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会長：臼井いづみ
- 日本看護管理学会
 - 広報・学術常陽委員：今井陽子

10. 学術活動

学会発表（特別講演・シンポジウム）

- 田中和美, 清水郁夫 患者安全の視点を多職種連携教育に取り入れる - patient journey mapping を体験してみよう 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 鋪野紀好 日本医学教育学会大会プログラムの共創—多様性を力に変える医療者教育へ— 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 清水郁夫, 江幡智栄, 岩瀬有希, 横山威一郎, 坂井直子, 伊藤彰一, 相馬孝博 ロールプレイを用いて患者協働を学ぶ医学生対象のワークショップ 第 19 回医療の質・安全学会 2024 年 11 月 29 日
- 田中和美, 清水郁夫 真の多職種連携のために学ぶ、お互いの患者安全コンピテンシー 第 19 回医療の質・安全学会 2024 年 11 月 29 日
- 鋪野紀好 パネルディスカッション：診療科（専攻）の選び方 臨床研修医オリエンテーション 2025 2025 年 3 月 22 日 千葉県 / 千葉県医師会 / NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク
- 鋪野紀好 ピットフォールを回避するための診断推論戦略 Kobe Master Class for GIM 2024 Winter 2024 年 12 月 19 日
- 鋪野紀好, 山中克郎, 小泉俊三 第 10 回 Choosing Wisely Japan オンライン・レクチャー「提言：日本の Choosing Wisely、こうして進めよう」 Choosing Wisely Japan 2024 年 10 月 6 日
- 鋪野紀好 日本医療 AI アカデミー 第 10 回オンライン勉強会「臨床推論 2.0」 日本医療 AI アカデミー第 10 回オンライン勉強会 2024 年 9 月 29 日
- 多胡雅毅, 志水太郎, 鋪野紀好, 和足孝之, 佐々木陽典, 高橋宏瑞 病院総合診療専門研修と試験の Tips—FHGM 1 期生の経験から学ぶ—（オンラインシンポジウム 1 2） 第 29 回日本病院総合診療医学会学術総会 2024 年 9 月 7 日～2024 年 10 月 11 日
- 鋪野紀好, 多胡雅毅, 志水 太郎, 佐々木 陽典, 和足 孝之, 高橋 宏瑞 ホスピタリストブートキャンプ vol.2～外来診療応用編 第 29 回日本病院総合診療医学会学術総会 2024 年 9 月 7 日
- 鋪野紀好, 多胡雅毅, 吉村文孝, 國友耕太郎, 志水太郎, 佐々木典陽, 和足孝之, 高橋宏瑞 症例検討から学ぶ診断推論戦略 byJUGLER (Vol.10) 第 29 回日本病院総合診療医学会学術総会 2024 年 9 月 7 日
- 鋪野紀好, 多胡雅毅, 志水太郎, 佐々木陽典, 高橋宏瑞, 和足孝之 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (Vol.11) 第 30 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 2 月 22 日
- 鋪野紀好, 多胡雅毅, 志水太郎, 佐々木陽典, 高橋宏瑞, 和足孝之 病院総合診療専門研修と試験の Tips (Vol.2) 第 30 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 2 月 22 日
- 鋪野紀好, 他 医師のためのウェルビーイングコーチング 米国内科学会日本支部年次総会・講演会 2024 2024 年 6 月 23 日
- 鋪野紀好, 他 Refeeding 症候群の予防と治療: Uptodate 米国内科学会日本支部年次

総会・講演会 2024 2024 年 6 月 22 日

- 鋪野紀好, 他 鼻血 (Epilexis):いざ!という時のピンチを切り抜ける方法- ハンズオンセミナー 米国内科学会日本支部年次総会・講演会 2024 2024 年 6 月 22 日
- 鋪野紀好 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (vol. 9) 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月
- 酒井郁子 シンポジウム 3「患者中心の医療を実現するチーム医療と教育」日本における専門職連携教育のいままでとこれから 第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会 2024 年 8 月 30 日
- 酒井郁子 理事会企画 今後の学会活動の探求ー30 年の学会の歩みをふまえて 第 30 回千葉看護学会学術集会 2024 年 9 月 7 日
- 酒井郁子 シンポジウムⅡ 災害時の生活支援と専門職連携 3) 大学院教育における災害時専門職連携演習 (災害 IP 演習) 第 17 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2024 年 11 月 10 日
- 鋪野 紀好 総合診療医の視点から迫る慢性疼痛患者への診断アプローチ (シンポジウム 4: 慢性疼痛に潜む pit fall) 第 17 回日本運動器疼痛学会 2024 年 11 月 30 日
- 半田 秀雄, 鶴沢 顕之, 澁谷 和幹, 荒木 信之, 水地 智基, 安田 真人, 桑原 聡 MG & LEMS 【WS1】 Lambert-Eaton 症候群の診断に関わる因子および免疫治療効果の解析 第 36 回日本神経免疫学会学術集会 2024 年 10 月 4 日

学会発表 (一般発表)

- Hiroshi Tajima, Misaki Onodera, Yasuhiko Kimura, Kiyoshi Shikino, Nobuyuki Araki, Kaduyo Yamauchi, Sachie Yoshida, Ikuo Shimizu, Hajime Kasai, Shoichi Ito A cross-sectional survey of graduation competency achievement at each grade in Chiba University 第 12 回仁済大学校ー千葉大学ジョイントセミナー 2024 年 5 月 30 日 千葉大学
- Yasuhiko Kimura Evaluation and enhancement measures for postgraduate clinical training with the use of online tools for multi-source feedback: A case study of Chiba University Hospital 第 12 回仁済大学校ー千葉大学ジョイントセミナー 2024 年 5 月 30 日 千葉大学
- Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Nobuyuki Araki, Hajime Kasai, Misaki Onodera, Shoichi Ito Enhancing Community-Oriented Perceptions in Medical Students through Problem-Based Learning with Real Patient Videos: A Mixed-Methods Study An International Association for Medical Education 2024 2024 年 8 月 27 日
- Yasutaka Yanagita, Daiki Yokokawa, Kosuke Ishizuka, Kiyoshi Shikino Medical Students' Diagnostic Accuracy and Confidence Using the CDSS: A Mixed-Methods Study An International Association for Medical Education 2024 2024 年 8 月 26 日
- Kosuke Ishizuka, Kiyoshi Shikino, Naoko Takada, Mitsuyasu Ohta, Masahiko Inamori, Akihiko Kusakabe The influence of team-based learning in developing clinical reasoning skills to medical students: A mixed-method study An

International Association for Medical Education 2024 2024 年 8 月 26 日

- Risa Hirata, Naoko E. Katsuki, Eiji Nakatani, Midori Tokushima, Tomoyo Nishi, Hitomi Shimada, Shizuka Yaita, Chihiro Saito, Kaori Amar5, Kazuya Kurogi, Yoshimasa Oda, Kiyoshi Shikino, Maiko Ono, Mariko Yoshimura, Masahiko Ezoe, Shun Yamashita, Yoshinori Tokushima, Hidetoshi Aihara, Motoshi Fujiwara, Masaki Tago VALIDATION OF SAGA FALL RISK MODEL: A MULTICENTER RETROSPECTIVE STUDY. SHM Converge 2024 2024/4/13
- 杉山淳比古, 中川友貴, 向井宏樹, 横田元, 織田史子, 鶴沢顕之, 伊藤彰一, 桑原聡 新型コロナウイルス感染を契機に神経症状が出現した小脳・脳幹型副腎白質ジストロフィーの 1 例 日本神経放射線学会 2025 年 2 月 21 日
- 伊藤 彰一 医学系臨床実習前 OSCE の到達基準と到達判定 試験信頼性妥当性検討委員会第 25 回講演会 2024 年 12 月 3 日
- 伊藤 彰一 医学教育の質向上のために ―独自性と普遍性― 東邦大学医学教育講演会 2024 年 11 月 21 日
- 三角良都, 三浦慶一郎, 笠井大, 伊藤彰一, 朝比奈真由美, 田邊政裕, 野村行弘, 中口俊哉 聴診訓練システム EARS の機械学習を用いた誤差補正の検討 日本 VR 医学会 2024 年 8 月 31 日
- 伊藤彰一 臨床実習協力病院・施設での指導者の養成や支援について～大学教員の立場から～ 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 松山泰, 伊藤彰一, 高村昭輝, 椎橋実智男, 藤崎和彦, 守屋利佳 Programmatic Assessment を日本で どう実践するか ―低学年や臨床実習など、様々な場面での 評価を考える― 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 8 日
- 笹山大遥, 笠井大, 清水郁夫, 田島寛之, 鋪野紀好, 荒木信之, 塚本知子, 吉田幸恵, 木村康彦, 小野寺みさき, 山内かづ代, 伊藤彰一 日本人医学生の学習観の特徴とその影響因子の探求 ―日本人大学生の学習観に関するスコーピングレビュー― 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 葉山 奈美, 笠井 大, 井出 成美, 孫 佳茹, 下井 俊典, 臼井いづみ, 鈴木 紀行, 石川雅之, 関根 祐子, 平田 慎之介, 鈴木 拓児, 中口 俊哉, 石井 伊都子, 伊藤 彰一, 朝比奈 真由美, 酒井 郁子 専門職連携教育における初回グループワークで生じる医療系学生の沈黙の原因の検討 ―リフレクションシートによる質的分析― 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 堀田晶子, 木村康彦, 松本暢平, 小野寺みさき, 朝比奈真由美, 伊藤彰一, 泉谷昌志, 江頭正人 医学生の大学生活の満足度・悩みの経時的変化及び生活状況・学業との関連: 二施設共同研究 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 村山愛, 鋪野紀好, 山内かづ代, 荒木信之, 青木信也, 勝山陽太, 曾我井大地, 宮本真衣, 森徳郎, 尾崎尚人, 山田悟史, 室屋洋平, 長谷部圭亮, 杉田昌昭, 伊藤彰一 地域病院アテンディングの参画による早期地域体験実習が医学生の地域医療理解と興味に及ぼす影響: 混合研究 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日
- 荒木信之, 鋪野紀好, 山内かづ代, 青木信也, 勝山陽太, 曾我井大地, 尾崎尚人, 森徳郎, 山田悟史, 伊藤彰一 地域病院アテンディングによる夏季フィールドワークの医学

生に与えた影響 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日

- 鋪野紀好, 山内かづ代, 荒木信之, 清水郁夫, 笠井大, 塚本知子, 田島寛之, 李宇, 伊藤彰一 地域志向型 PBL が医学生の地域医療教育に与える影響: 混合研究 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 青木信也, 鋪野紀好, 山内かづ代, 荒木信之, 加瀬詩織, 樋口一樹, 伊藤彰一 臨床研修医が医師不足地域での地域医療研修を選択する要因: 混合研究 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 清水郁夫, 伊藤彰一 異なる diagnostic error 説明モデルが学習者に与える影響の違い 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 笠井大, 齋藤合, 竹田健一郎, 田島寛之, 川目千晶, 葉山奈美, 鋪野紀好, 清水郁夫, 山内かづ代, 朝比奈真由美, 鈴木拓児, 伊藤彰一 臨床実習中の Workplace-based Evidence-based Medicine(WB-EBM)プログラムが医学生の EBM 実践に及ぼす効果 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 笹山大遥, 笠井大, 笠井大, 清水郁夫, 清水郁夫, 田島寛之, 鋪野紀好, 鋪野紀好, 荒木信之, 荒木信之, 塚本知子, 塚本知子, 吉田幸恵, 木村康彦, 小野寺みさき, 山内かづ代, 山内かづ代, 伊藤彰一, 伊藤彰一 日本人医学生の学習観の特徴とその影響因子の探求-日本人大学生の学習観に関するスコアリングレビュー- 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日 日本医学教育学会 (帝京大学)
- 清水 郁夫, 江幡 智栄, 岩瀬 有希, 横山 威一郎, 笠井 大, 朝比奈 真由美, 伊藤 彰一, 相馬 孝博 異なる diagnostic error 説明モデルが 学習者に与える影響の違い 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 松本 暢平, 堀田 晶子, 木村 康彦, 小野寺 みさき, 笠井 大, 朝比奈 真由美, 泉谷 昌志, 江頭 正人, 伊藤 彰一 医学生の学修の充実と行動・情緒との相関・因果 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 10 日 日本医学教育学会 (帝京大学)
- 葉山奈美, 笠井大, 井出成美, 孫佳茹, 下井俊典, 臼井いづみ, 石川雅之, 関根祐子, 平田慎之介, 鈴木拓児, 中口俊哉, 石井伊都子, 伊藤彰一, 朝比奈真由美, 酒井郁子 専門職連携教育における初回グループワークで生じる医療系学生の沈黙の要因の検討ーリフレクションシートによる質的分析ー 第 56 回日本医学教育学会大会 特別企画 5 「多職種連携と心理的安全性」 2024 年 8 月 10 日
- 鋪野紀好,他 医師地域偏在指標と GM-ITE スコアの関連 (オンデマンドシンポジウム 1 卒後臨床研修ダイバーシティー多様な視点からの学び) 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 9 日
- 清水郁夫 医療安全の教育から医療安全のための教育へ 近年の動向から 第 13 回日本精神科医学会学術大会 2024 年 7 月 26 日
- 清水郁夫, 田中和美 臨床(臨地)実習における医療系学生の 患者安全学修機会に関する調査 第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会 2024 年 6 月 22 日
- 武藤 浩子, 沈 雨香, 山本 桃子, 木村 康彦, 藤本 啓寛, 濱中 淳子, 吉田 文 附属校出身であること: 3 大学の学生インタビューによる学生意識の比較分析 日本教育社会学会第 76 回大会 2024 年 9 月 13 日 日本教育社会学会 (信州大学)
- 木村 康彦 都道府県別にみる私立高等学校等経常費補助金の地域差: ジニ係数を用い

た定量分析の試み 早稲田大学教育学会 2024 年度研究大会 2025 年 3 月 1 日 早稲田大学教育学会

- 高橋在也 スピノザの哲学と罪責感の癒し 日本プライマリ・ケア連合学会第 15 回学術大会オンラインシンポジウム 2024 年 6 月 7 日
- 高橋在也 総合人間学から「ケア」を問う：人類・社会・個人 総合人間学会第 18 回研究大会 2024 年 6 月 15 日
- 高橋在也 人物の星座と山並み：高田博厚の芸術と彫刻 東松山市きらめき市民大学 2024 年 10 月 10 日
- 高橋在也 自分の言葉が大切にされる体験：言葉・暴力・対話とリハビリテーション看護 日本リハビリテーション看護学会第 36 回学術集会 2024 年 11 月 3 日
- 高橋在也 在宅医療における生きがい概念の意味 健康生きがい学会第 14 回大会 2024 年 11 月 9 日
- 鋪野紀好 Difficult Patient Encounter への対応 自治医科大学 地域医療後期研修プログラム 第 37 回 指導医研修会・レジデント研修報告会 2024 年 12 月 7 日
- 山内かづ代, 鋪野紀好, 荒木信之, 高橋在也, 森徳郎, 山田悟史, 青木信也, 笠井一, 清水郁夫, 伊藤彰一 AV システムを活用した 訪問診療シミュレーションの学修効果 第 12 回日本シミュレーション医療教育学会学術大会 2024 年 11 月 2 日
- 安藤明美, 鋪野紀好, 宮澤麻子, 原田 拓, 岡本雄太郎 医師のバーンアウトリスクに産業保健の視座を取り入れたウェビナーによる意識変容 第 34 回日本産業衛生学会全国協議会 2024 年 10 月 4 日
- 鋪野紀好, 近藤猛, 春田淳志, 錦織宏, 山本涼太郎, 古田京 新しい医学教育モデル・コア・カリキュラムと病院総合診療医 第 29 回日本病院総合診療医学会学術総会 2024 年 9 月 8 日
- 鋪野紀好, 多胡雅毅, 志水太郎, 佐々木陽典, 和足孝之, 高橋宏瑞 総合診療医の分類手法の開発-総合診療医学の明確なエビデンスを構築するために- 第 29 回日本病院総合診療医学会学術総会 2024 年 9 月 7 日
- 横川大樹, 柳田育孝, 上原孝紀, 野田和敬, 李宇, 鋪野紀好, 塚本知子, 生坂政臣 総合診療医が記載した診療録による分散表現構築の 妥当性と有用性の検討 第 28 回日本医療情報学会春季学術大会 2024 年 6 月
- 平田 理紗, 香月 尚子, 中谷 英仁, 徳島 緑, 西 知世, 島田 ひとみ, 八板 静香, 齋藤千紘, 甘利 香織, 黒木 和哉, 織田 良正, 鋪野 紀好, 大野 每子, 吉村 麻里子, 多胡雅毅 入院時の転倒予防は転倒の減少に関連しない可能性がある～傾向スコアによる 1256 例の解析 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 9 日
- 藤川裕恭, 安藤崇之, 遠藤周, 金子惇, 鋪野紀好, 長嶺由衣子, 中山健夫, 錦織宏, 山梨啓友, 春田淳志 総合的に患者・生活者をみるために必要なコンピテンシー とは:医学教育モデル・コア・カリキュラムへの新設 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 9 日
- 佐藤 瑠璃香, 横川 大樹, 上原 孝紀, 大平 善之, 石塚 晃介, 李 宇, 塚本 知子, 鋪野紀好, 柳田 育孝, 小島 淳平, 福澤 文駿, 生坂 政臣 男性医師による女性患者の身体診察時に同席者は必要か?医師患者間の意識の比較検討 第 15 回日本プライマリ・ケ

ア連合学会学術大会 2024 年 6 月 8 日

- 鋪野紀好 誰一人取り残さない専門研修支援を考える 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 9 日
- 鋪野 紀好, 阿波谷 敏英, 堀内 明由美 シームレスな総合診療医養成のための研修目標と学修項目リストの開発 総合診療シラバスについて 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月 8 日
- 鋪野紀好 病院総合診療医のリーダーシップ実践-持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアを支えるために- 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月
- 藤川 裕恭, 安藤 崇之, 遠藤 周, 金子 惇, 鋪野 紀好, 長嶺 由衣子, 中山 健夫, 錦織 宏, 山梨 啓友, 春田 淳志 総合的に患者・生活者をみるために必要なコンピテンシーとは 医学教育モデル・コア・カリキュラムへの新設 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月
- 平田 理紗, 香月 尚子, 中谷 英仁, 徳島 緑, 西 知世, 島田 ひとみ, 八板 静香, 齋藤 千紘, 甘利 香織, 黒木 和哉, 織田 良正, 鋪野 紀好, 大野 每子, 吉村 麻里子, 多胡 雅毅 入院時の転倒予防は転倒の減少に関連しない可能性がある 傾向スコアによる 1256 例の解析 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024 年 6 月
- 酒井郁子 第一部講演会 基調講演 これからの IPE (専門職連携教育)・IPCP (専門職連携協働実践). 第 3 回カマチグループ “看護を考える” 講演会 2024—未来の看護師を考える 2024 年 5 月 25 日
- 酒井郁子 地域包括ケアにおける専門職連携実践の実際と効果 第 24 回日本運動器看護学会学術集会 2024 年 6 月 9 日
- 酒井郁子 多職種連携でつなぐ一つながる多職種連携教育の未来 日本看護学教育学会 第 34 回学術集会 2024 年 8 月
- 齋藤恭子, 屋久裕介, 味木由布美, 酒井郁子 EBP に基づいた点滴作成時の適切な照合方法への取り組み—ベッドサイドでの時間の拡充と看護ケアの充実を目指して 第 28 回日本看護管理学会学術集会 2024 年 8 月
- 屋久裕介, 齋藤恭子, 味木由布美, 酒井郁子 EBP(Evidence-Based Practice)の実装に取り組むスタッフの支援—臨床・研究・教育との協働を通じて、スタッフといともに学ぶ— 第 28 回日本看護管理学会学術集会 2024 年 8 月
- 下井俊典, 井出成美, 孫佳茹, 齊藤可紗, 臼井いづみ, 朝比奈真由美, 笠井大, 酒井郁子 亥鼻 IPE: クリニカル IPE の学習効果および学生の行動内容. 第 17 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2024 年 11 月 10 日
- 辻野拓也, 酒井郁子, 野崎章子, 飯田貴映子, 飯野理恵, 井出成美, 下井俊典, 孫佳茹, 石橋みゆき グローバル IPE プログラムによる多職種連携能力向上効果検証: 千葉大学とシンビオシス国際大学学生の比較, 第 17 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2024 年 11 月 10 日
- 山内かづ代, 野崎章子, 辻野拓也, 飯田貴映子, 飯野理恵, 鋪野紀好, 荒木信之, 伊藤 彰一, 酒井郁子 非都市部におけるグローバル IPE の可能性: 海外学生受入れが地域組織と住民にもたらす多面的効果 日本保健医療福祉連携教育学会 第 17 回学術集会 2024 年 11 月 10 日

- 井出 成美, 下井 俊典, 孫 佳茹, 臼井 いづみ, 飯野 理恵, 平田 慎之介, 関根 祐子, 朝比奈 真由美, 笠井 大, 酒井 郁子 IPE プログラムの開講形式が学習者のグループワークに対する自己評価に与える影響 千葉大学亥鼻 IPE-Step 1 における検討 日本保健医療福祉連携教育学会第 17 回学術集会 2024 年 11 月 11 日
- 下井 俊典, 孫 佳茹, 井出 成美, 臼井 いづみ, 飯野 理恵, 関根 祐子, 朝比奈 真由美, 笠井 大, 酒井 郁子 低年次 IPE プログラムにおける学習者のグループワークに対する自己評価の変化 千葉大学亥鼻 IPE-Step 1-2 の開講形式のパターン別分析 日本保健医療福祉連携教育学会第 17 回学術集会 2024 年 11 月 12 日
- 臼井 いづみ, 井出 成美, 孫 佳茹, 飯野 理恵, 関根 祐子, 朝比奈 真由美, 下井 俊典, 笠井 大, 酒井 郁子 看護学部のカリキュラム改変が IPE 受講学生に与えた効果 学生の記述の分析から 日本保健医療福祉連携教育学会第 17 回学術集会 2024 年 11 月 13 日
- 森下裕咲子, 斉藤しのぶ, 臼井いづみ, 小山博史, 野村行弘, 中口俊哉 即時フィードバックを有した傷の手当てシミュレータの開発 第 23 回日本 VR 医学会 2024 年 8 月 31 日
- 今井陽子, 新井加代子 院内研修の意義を再考する 第 28 回日本看護管理学会 2024 年 8 月 24 日
- 渡邊朋, 小川純子 小児がんのこどもの在宅療養への移行のための病棟看護師から訪問看護師への情報提供 第 22 回日本小児がん看護学会学術集会 2024 年 12 月 14 日
- 上原 孝紀, 横川 大樹, 李 宇, 柳田 育孝, 小島 淳平, 佐藤 瑠璃香, 鋪野 紀好, 塚本知子, 大平 善之, 太田 光泰 大学病院をフィールドとしたジェネラルな生涯教育の可能性(新モデルコアカリキュラム(令和 4 年)の目標を見据えた理想的かつ教育的な臨床現場構築のための生涯教育の強化事項 2024) 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 日本医学教育学会(帝京大学)
- 遠藤 芽依, 鋪野 紀好, 豊田 喜弘, 中村 光輝, Stanyon Maham, 早坂 史恵, 菅家 智史 Collaborative teaching to enhance students' perception of patient-centered care: mixed-method study(患者中心のケアに対する学生の認識を高めるための共同教育 混合法研究) 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 日本医学教育学会(帝京大学)
- 宮上 泰樹, 西崎 祐史, 志水 太郎, 鋪野 紀好, 山本 祐, 片岡 恒史, Deshpande Gautam, 内藤 俊夫, 徳田 安春 Examination of optimal outpatient training for resident doctors: a nationwide cross-sectional study(研修医に対する適切な外来患者研修の検討 全国横断研究) 第 56 回日本医学教育学会大会 2024 年 8 月 日本医学教育学会(帝京大学)
- 横内宣敬, 荒木信之, 荒木信之, 市原章子, 尾形穂乃香, 三澤園子, 鋪野紀好, 山内かづ代, 伊藤彰一, 竹内公一, 桑原聡 脳神経内科常勤医不在の病院における神経疾患診療についてのアンケート調査 第 65 回日本神経学会学術大会 2024 年 5 月 31 日
- 河野 励哉, 塩谷 優, 笠井 大, 平間 隆太郎, 内藤 亮, 安部 光洋, 川崎 剛, 鈴木 拓児, 太田 昌幸 器質化肺炎を呈した肺 Mycobacterium goodii(M.goodii)症の一例 第 185 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・第 258 回日本呼吸器学会関東地方会合同学会 2024 年 2 月

- 大辻 琉加, 笠井 大, 杉浦 寿彦, 葉山 奈美, 田中 教久, 相原 啓紀, 太田 昌幸, 鈴木 秀海, 鈴木 拓児 長期にわたり未診断であった小児の限局性複雑型肺動静脈瘻(PAVM)の1例 第64回日本呼吸器学会学術講演会 2024年4月
- 金弘 祥太朗, 荒野 貴大, 杉浦 寿彦, 笠井 大, 竹田 健一郎, 葉山 奈美, 内藤 亮, 安部 光洋, 今林 宏樹, 佐田 諭己, 鈴木 秀海, 鈴木 拓児 4D-CTでの形態評価が有用であった先天性右肺静脈閉塞症による肺静脈瘤と肺静脈-肺静脈(PV-PV)シャントの一例 第64回日本呼吸器学会学術講演会 2024年4月
- 平田理紗, 香月尚子, 島田ひとみ, 八板静香, 織田良正, 中谷英仁, 甘利香織, 鋪野紀好, 吉村麻里子, 多胡雅毅 多病院データを用いた新たな転倒傷害予測モデルの開発と検証 第64回日本呼吸器学会学術講演会 2024年5月
- 平田 理紗, 香月 尚子, 中谷 英仁, 徳島 緑, 西 知世, 島田 ひとみ, 八板 静香, 齋藤 千紘, 甘利 香織, 黒木 和哉, 織田 良正, 鋪野 紀好, 大野 每子, 吉村 麻里子, 多胡 雅毅 入院時に実施する転倒予防策は入院中の転倒傷害に関連しない可能性がある 日本転倒予防学会第11回学術集会 2024年11月24日
- 鍋島 沙織, 藤原 元嗣, 平田 理紗, 鋪野 紀好, 中島 央律紗, 井手 則子, 本村 壮, 中村 仁彦, 牧尾 成二郎, 大石 透, 山下 駿, 徳島 圭宜, 香月 尚子, 相原 秀俊, 多胡 雅毅 両側下腿浮腫で発症した血管内大細胞型B細胞リンパ腫の一例 第29回日本病院総合診療医学会学術総会 2024年9月7日
- 平田 理紗, 香月 尚子, 徳島 緑, 八板 静香, 島田 ひとみ, 中谷 英仁, 齋藤 千紘, 甘利 香織, 黒木 和哉, 織田 良正, 大野 每子, 鋪野 紀好, 吉村 麻里子, 西 知世, 山下 駿, 徳島 圭宜, 相原 秀俊, 藤原 元嗣, 多胡 雅毅 転倒の時間帯によって転倒の関連因子は異なる 多施設後ろ向き観察研究 第29回日本病院総合診療医学会学術総会 2024年9月8日
- 横川 大樹, 柳田 育孝, 上原 孝紀, 野田 和敬, 李 宇, 鋪野 紀好, 塚本 知子, 生坂 政臣 総合診療医が記載した診療録による分散表現構築の妥当性と有用性の検討 第28回日本医療情報学会春季学術大会 2024年6月
- 荒木 信之, 山中 義崇, 中嶋 秀人, 桑原 聡 スモン後遺症患者における自律神経に関する自覚症状の変化 第65回日本神経学会学術大会/第19回アジア・オセアニア神経学会議 2024年5月30日
- 小泉 湧芽, 平野 成樹, 山本 達也, 山中 義崇, 荒木 信之, 杉山 淳比古, 櫻井 透, 仲野 義和, 堀越 琢郎, 飯森 隆志, 北山 仁久, 和泉 未知子, 田村 光至, 山岸 航介, 桑原 聡 アルツハイマー病とレビー小体型認知症における脳血流の相違 第65回日本神経学会学術大会/第19回アジア・オセアニア神経学会議 2024年5月31日
- 坂井直子, 藤澤陽子, 塚原宣子, 岡本百合子, 佐伯昌俊, 佐野元洋, 楠潤子, 増島麻里子, 酒井郁子, 眞島朋子 がん薬物療法を受ける患者への看護師による支援の実際 日本がん看護学会第38回学術集会 2024年2月

原著

- Daichi Sogai, Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Nobuyuki Araki, Yota Katsuyama, Shinya Aoki, Yohei Muroya, Mai Miyamoto, Yu Kamata, Shoichi Ito Influencing

physician distribution through education: a qualitative study on retention in Japan's rural hospitals BMC medical education 24(1) 1147-1147 2024 年 10 月 15 日

- Hajime Kasai, Mayumi Asahina, Hiroshi Tajima, Kiyoshi Shikino, Ikuo Shimizu, Misaki Onodera, Yasuhiko Kimura, Nobuyuki Araki, Tomoko Tsukamoto, Sachie Yoshida, Kazuyo Yamauchi, Shoichi Ito Effectiveness of a report writing training program using peer review: evidence from first-year medical students BMC medical education 24(1) 1132-1132 2024 年 10 月 11 日
- Junji Haruta, Yuka Urushibara-Miyachi, Shoichi Ito, Akiteru Takamura, Yoshio Nitta, Rika Moriya, Masanaga Yamawaki The impact of core curriculum revisions on Japanese medical schools: Navigating curriculum evolution Medical teacher 46(sup1) S67-S75 2024 年 9 月
- Aoba Nakamura, Hajime Kasai, Mayumi Asahina, Yu Kamata, Kiyoshi Shikino, Ikuo Shimizu, Misaki Onodera, Yasuhiko Kimura, Hiroshi Tajima, Kazuyo Yamauchi, Shoichi Ito Impact of group work on the hidden curriculum that induces students' unprofessional behavior toward faculty BMC Medical Education 24(1) 770-770 2024 年 7 月 19 日
- Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Nobuyuki Araki, Ikuo Shimizu, Hajime Kasai, Tomoko Tsukamoto, Hiroshi Tajima, Yu Li, Misaki Onodera, Shoichi Ito Understanding Community Health Care Through Problem-Based Learning With Real-Patient Videos: Single-Arm Pre-Post Mixed Methods Study JMIR Medical Education 11 e68743-e68743 2025 年 1 月 31 日
- Ikuo Shimizu Social interdependence in collaborative learning Doctoral Thesis 2024 年 12 月 18 日
- Ikuo Shimizu, Kazumi Tanaka, Jun-Ichirou Mori, Aiga Yamauchi, Sawako Kato, Yuichi Masuda, Yuichi Nakazawa, Hiroyuki Kanno Objective Structured Clinical Examination to Assess Patient Safety Competencies of Japanese Medical Students: Development and Validation Argument Cureus 16(11) e73969 2024 年 11 月 19 日
- Yasushi Matsuyama, Osamu Nomura, Sayaka Oikawa, Makoto Kikukawa, Ikuo Shimizu, Harumi Gomi Competency-based medical education guidelines are context-based: Lessons from national guidelines in five countries Medical Teacher 2024 年 11 月 15 日
- Hajime Kasai, Go Saito, Kenichiro Takeda, Hiroshi Tajima, Chiaki Kawame, Nami Hayama, Kiyoshi Shikino, Ikuo Shimizu, Kazuyo Yamauchi, Mayumi Asahina Effect of a workplace-based learning program on clerkship students' behaviors and attitudes toward evidence-based medicine practice Medical education online 29(1) 2357411-2357411 2024 年 12 月 31 日
- Kenichiro Takeda, Hajime Kasai, Ikuo Shimizu, Ryutaro Hiramata, Nami Hayama, Kohei Shikano, Mitsuhiro Abe, Akira Naito, Takuji Suzuki Complications Rate and a Multidimensional Analysis of Their Causes of Tube Thoracostomy: A Mixed-Methods Study Cureus 16(4) e58563 2024 年 4 月 18 日

- Miori Kitamura, Hajime Kasai, Jiro Terada, Ken Koshikawa, Kenichi Suzuki, Takuji Suzuki Management of Acute and Chronic Hypercapnic Respiratory Failure in Severe Obesity-Hypoventilation Syndrome: A Case Study of Multi-Modal Therapy and Long-Term Weight Loss. The American journal of case reports 25 e945448 2024 年 11 月 14 日
- Toshiki Sakuma, Hajime Kasai, Toshihiko Sugiura, Kenichiro Takeda, Minoru Watanabe, Kenichi Suzuki, Takashi Urushibara, Takuji Suzuki Pulmonary arteriovenous malformation diagnosed by recurrent hemothorax - A case report. Respiratory medicine case reports 55 102204-102204 2025 年
- Yu Shionoya, Hajime Kasai, Reiya Kono, Ryutaro Hiram, Masayuki Ota, Akira Naito, Mitsuhiro Abe, Takeshi Kawasaki, Jun-Ichiro Ikeda, Takuji Suzuki Mycobacterium goodii pulmonary disease with organizing pneumonia: A case report and review of literature. Respiriology case reports 13(1) e70095 2025 年 1 月
- Hajime Kasai, Kiyoshi Shikino, Shogo Mohri, Asuka Sato, Hidetaka Yokoh Role - play - based coaching program for empowering clinical educators Journal of General and Family Medicine 26(1) 108-109 2025 年 1 月
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Kazuya Nagasaki, Hiroyuki Kobayashi, Masanori Nojima, Miwa Sekine, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Yasuharu Tokuda Association between residents' work hours and patient care ownership: a nationwide cross-sectional study in Japan. BMC medical education 25(1) 385-385 2025 年 3 月 15 日
- Nobuyuki Araki, Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Naoto Ozaki, Zaiya Takahashi, Shinya Aoki, Yota Katsuyama, Daichi Sogai, Mai Miyamoto, Ai Murayama, Tokuro Mori, Satoshi Yamada, Keisuke Hasebe, Masaaki Sugita, Shoichi Ito Job stressors and buffer factors in community-oriented medical education: insights from community-attending physicians' experiences Rural and Remote Health 25(1) 2025 年 3 月 12 日
- Kiyoshi Shikino, Masaki Tago, Takashi Watari, Yosuke Sasaki, Hiromizu Takahashi, Risa Hirata, Taro Shimizu Key Clinical Strategies for Outpatient Care for Japanese Hospital-based General Medicine Physicians Journal of Hospital General Medicine 7(2) 70-73 2025 年 3 月
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Kiyoshi Shikino, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Yasuharu Tokuda Undergraduate general medicine education in Japan: A nationwide cross - sectional survey of medical trainees' perspectives Journal of General and Family Medicine 26(2) 148-156 2025 年 3 月
- Jumpei Kojima, Takanori Uehara, Yoshiyuki Ohira, Tomoko Tsukamoto, Kiyoshi Shikino, Daiki Yokokawa, Yu Li, Yasutaka Yanagita, Rurika Sato, Masatomi Ikusaka Potential for reducing confirmation bias using the OMP model “6-microskills” with verbalizing discordance: a cross-sectional study BMC Medical Education 25(1) 310-310 2025 年 2 月 26 日

- Kosuke Ishizuka, Kiyoshi Shikino, Naoko Takada, Yohei Sakai, Yasushi Ototake, Takashi Kobayashi, Tetsuhiko Inoue, Ryosuke Jikuya, Yuri Iwata, Kenichi Nishimura, Ryusuke Yoshimi, Yasufumi Oi, Yuko Watanabe, Yu Togashi, Fumihiro Ogawa, Daisuke Sano, Takeshi Asami, Yuichi Imai, Ichiro Takeuchi, Kengo Funakoshi, Mitsuyasu Ohta, Masahiko Inamori, Akihiko Kusakabe Enhancing clinical reasoning skills in medical students through team-based learning: a mixed-methods study. *BMC medical education* 25(1) 221-221 2025 年 2 月 11 日
- Yumi Kawamura, Kiyoshi Shikino, Takushi Fujimoto Positive tourniquet test in dengue fever. *QJM : monthly journal of the Association of Physicians* 2025 年 1 月 29 日
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Miwa Sekine, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda Association of clinical knowledge with patient care ownership among resident physicians: a nationwide cross-sectional study in Japan. *BMC medical education* 25(1) 77-77 2025 年 1 月 16 日
- Taiju Miyagami, Yuji Nishizaki, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Koshi Kataoka, Masanori Nojima, Gautam Deshpande, Toshio Naito, Yasuharu Tokuda Optimal outpatient training for resident physicians' general medicine in-training examination score: a cross-sectional study. *BMC medical education* 25(1) 49-49 2025 年 1 月 11 日
- Risa Hirata, Masaki Tago, Hiromizu Takahashi, Takashi Watari, Kiyoshi Shikino, Yosuke Sasaki, Taro Shimizu A Questionnaire Study of Leadership in General Medicine: General Physicians in Japan are Facing Challenges in Education and Research [Response to Letter]. *International journal of general medicine* 18 1215-1216 2025 年
- Daiki Yokokawa, Kiyoshi shikino, Yuji Nishizaki, Sho Fukui, Yasuharu Tokuda Survey of Physicians on the Need for Female Chaperones Based on the Body Areas Examined in Female Patients by Male Physicians: A Cross-Sectional Pilot Study. *Cureus* 17(1) e77208 2025 年 1 月
- Daiki Yokokawa, Takanori Uehara, Rurika Sato, Kosuke Ishizuka, Yu Li, Kiyoshi Shikino, Tomoko Tsukamoto, Hiroki Tamura, Yasutaka Yanagita, Jumpei Kojima, Shiho Yamashita, Masatomi Ikusaka Evaluation of a Computer-Based Morphological Analysis Method for Free-Text Responses in the General Medicine In-Training Examination: Algorithm Validation Study *Cureus* 17(1) e77208 2025 年 1 月
- Kiyoshi Shikino, Yuji Nishizaki, Kazuya Nagasaki, Hiroyuki Kobayashi, Koshi Kataoka, Taro Shimizu, Yasuharu Tokuda Residency Program Directors' Perspectives on Overtime Duty Hours and Professional Development Time in Japan *Advances in Medical Education and Practice* 15 1185-1194 2024 年 12 月
- Kiyoshi Shikino, Yuji Nishizaki, Koshi Kataoka, Sho Fukui, Daiki Yokokawa, Taro

Shimizu, Yu Yamamoto, Kazuya Nagasaki, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda
A novel resident physician examination using clinical simulation video to assess
clinical competence in Japan: a cross-sectional study. BMC medical education
24(1) 1402-1402 2024 年 11 月 30 日

- Risa Hirata, Masaki Tago, Hiromizu Takahashi, Takashi Watari, Kiyoshi Shikino, Yosuke Sasaki, Taro Shimizu A Questionnaire Study of Leadership in General Medicine: General Physicians in Japan are Facing Challenges in Education and Research International Journal of General Medicine 17 5465-5470 2024 年 11 月
- Yoshinori Tokushima, Risa Hirata, Shun Yamashita, Kiyoshi Shikino, Taro Shimizu, Masaki Tago Enhancing Clinical Reasoning Education: Implementing Case Conferences with Semantic Qualifiers and the Dual-Process Theory Advances in Medical Education and Practice 15 1149-1154 2024 年 11 月
- Kiyoshi Shikino Yuji Nishizaki Koshi Kataoka Masanori Nojima Taro Shimizu Yu Yamamoto Sho Fukui Kazuya Nagasaki Daiki Yokokawa Hiroyuki Kobayashi Yasuharu Tokuda Association between physicians' maldistribution and core clinical competency of resident physicians: a nationwide cross-sectional study BMJ Open 14(10) e083184 2024 年 10 月 18 日
- Sho Nishiguchi Yuji Nishizaki Miki Hamaguchi Atshushi Goto Masahiko Inamori Kiyoshi Shikino Tomohiro Shinozaki Koshi Kataoka Taro Shimizu Yu Yamamoto Sho Fukui Hiroyuki Kobayashi Yasuharu Tokuda Experience of caring for patients with COVID-19 and educational achievement among Japanese resident physicians: a nationwide survey with general medicine in-training examination. BMC medical education 24(1) 1125-1125 2024 年 10 月 11 日
- Hirohisa Fujikawa, Takayuki Ando, Amane Endo, Makoto Kaneko, Kiyoshi Shikino, Yuiko Nagamine, Takeo Nakayama, Hiroshi Nishigori, Hirotomo Yamanashi, Junji Haruta Competencies related to generalism for Japanese medical undergraduates: Essential skills for comprehensive care. Medical teacher 46(sup1) S21-S30 2024 年 9 月
- Hiromizu Takahashi, Kiyoshi Shikino, Takeshi Kondo, Akira Komori, Yuji Yamada, Mizue Saita, Toshio Naito Educational Utility of Clinical Vignettes Generated in Japanese by ChatGPT-4: Mixed Methods Study. JMIR medical education 10 e59133 2024 年 8 月 13 日
- Risa Hirata Naoko E. Katsuki Hitomi Shimada Eiji Nakatani Kiyoshi Shikino Maiko Ono Chihiro Saito Kaori Amari Kazuya Kurogi Mariko Yoshimura Tomoyo Nishi Shizuka Yaita Yoshimasa Oda Midori Tokushima Yuka Hirakawa Masahiko Nakamura Shun Yamashita Yoshinori Tokushima Hidetoshi Aihara Motoshi Fujiwara Masaki Tago Criterion-related Validity of the Cognitive Function Score with the Revised Hasegawa's Dementia Scale and the Bedriddenness Rank with the Barthel Index and the Katz Index: A Multi-center Retrospective Study Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra 14(1) 75-80 2024 年 7 月 30 日

- Sho Fukui, Taro Shimizu, Yuji Nishizaki, Kiyoshi Shikino, Yu Yamamoto, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda The Utility of Wearable Cameras in Developing Examination Questions and Answers on Physical Examinations: Preliminary Study. *JMIR medical education* 10 e53193 2024 年 7 月 19 日
- Risa Hirata, Masaki Tago, Kiyoshi Shikino, Takashi Watari, Hiromizu Takahashi, Yosuke Sasaki, Taro Shimizu Standardizing Generalist Definitions to Improve Evidence in General Medicine: Addressing Diverse Interpretations and Lack of Consistency. *International journal of general medicine* 17 2939-2943 2024 年 7 月
- Kiyoshi Shikino Taro Shimizu Yuki Otsuka Masaki Tago Hiromizu Takahashi Takashi Watari Yosuke Sasaki Gemmei Iizuka Hiroki Tamura Koichi Nakashima Kotaro Kunitomo Morika Suzuki Sayaka Aoyama Shintaro Kosaka Teiko Kawahigashi Tomohiro Matsumoto Fumina Orihara Toru Morikawa Toshinori Nishizawa Yoji Hoshina Yu Yamamoto Yuichiro Matsuo Yuto Unoki Hirofumi Kimura Midori Tokushima Satoshi Watanuki Takuma Saito Fumio Otsuka Yasuharu Tokuda Evaluation of ChatGPT-Generated Differential Diagnosis for Common Diseases With Atypical Presentation: Descriptive Research. *JMIR medical education* 10 e58758 2024 年 6 月 21 日
- Koshi Kataoka Yuji Nishizaki Taro Shimizu Yu Yamamoto Kiyoshi Shikino Masanori Nojima Kazuya Nagasaki Sho Fukui Sho Nishiguchi Kohta Katayama Masaru Kurihara Rieko Ueda Hiroyuki Kobayashi Yasuharu Tokuda Hospital Use of a Web-Based Clinical Knowledge Support System and In-Training Examination Performance Among Postgraduate Resident Physicians in Japan: Nationwide Observational Study *JMIR Medical Education* 10 e52207 2024 年 5 月 30 日
- Fumitoshi Fukuzawa Yasutaka Yanagita Daiki Yokokawa Shun Uchida Shiho Yamashita Yu Li Kiyoshi Shikino Tomoko Tsukamoto Kazutaka Noda Takanori Uehara Masatomi Ikusaka Importance of Patient History in Artificial Intelligence-Assisted Medical Diagnosis: Comparison Study. *JMIR medical education* 10 e52674 2024 年 4 月 8 日
- Miki Yoshitake, Atsuhiko Sugiyama, Takayoshi Shimohata, Nobuyuki Araki, Masahide Suzuki, Kazumoto Shibuya, Kengo Nagashima, Nobutaka Hattori, Satoshi Kuwabara Delivering the diagnosis of multiple system atrophy: a multicenter survey on Japanese neurologists' perspectives *BMC Neurology* 24(1) 2024 年 5 月 13 日
- Tomoko Kamei, Aki Kawada Kotoko Minami Zaiya Takahashi Yasunori Ishigaki Takashi Yamanaka Noriko Yamamoto Yuko Yamamoto Yusuke Suzuki Takamasa Watanabe Katsuya Iijima Effectiveness of an interdisciplinary home care approach for older adults with chronic conditions: A systematic review and meta-analysis. *Geriatrics & gerontology international* 2024 年 7 月 17 日
- Mitsunori Miyashita, Mizuho Nonaka, Maho Aoyama, Miharuru Nakanishi, Miyae Yamakawa, Hiroki Fukahori, Kazuki Sato, Zaiya Takahashi, Hiroko Nagae, Tatsuya

Morita Concept of good death in people with dementia: a cross - sectional questionnaire survey of bereaved family members and medical professionals Psychogeriatrics 25(2) e70015 2025 年 2 月 26 日

- Yumiko Iwasaki, Hiroki Fukahori, Akemi Okumura-Hiroshige, Ikuko Sakai, Shuichi Inoue, Tomoko Sugiyama, Katsumi Nasu, Hirofumi Ogawara Family Caregivers' Needs in Long-Term Care Facilities: A Descriptive Qualitative Study. Research in gerontological nursing 17(4) 177-187 2024 年 6 月 20 日
- Masatoshi Saiki, Yoko Fujisawa, Naoko Sakai, Nobuko Tsukahara, Yuriko Okamoto, Motohiro Sano, Junko Kusunoki, Mariko Masujima, Ikuko Sakai, Tomoko Majima Nurses' Perceptions of Support in Cancer Pharmacotherapy at a University Hospital: A Descriptive Quantitative Study. SAGE open nursing 10 23779608241288718-23779608241288718 2024 年
- Ai Tomotaki, Ikuko Sakai, Hiroki Fukahori, Yasunobu Tsuda Evaluation of an evidence-based practice education workshop focused on critical appraisal for advanced practice nurses: A before-after intervention study. BMC medical education 24(1) 1351-1351 2024 年 11 月 23 日
- Ai Tomotaki, Masatoshi Saiki, Hiroki Fukahori, Takeshi Yamamoto, Masakazu Nishigaki, Chiyo Matsuoka, Emi Yasuda, Ikuko Sakai Psychometric properties of the Japanese version of the evidence-based practice beliefs scale among clinical nurses Journal of International Nursing Research 4(1) e2023-0042 2025 年
- Yusako Morishita, Yuya Oura, Hiroshi Oyama, Izumi Usui, Yukihiro Nomura, Toshiya Nakaguchi Pupil Dilation as an Indicator of Cognitive Load During Multi-tasking in a Virtual Environment The Japanese Journal for Medical Virtual Reality 21(1) 1-11 2024 年 9 月
- Motohiro Sano, Masatoshi Saiki, Mariko Masujima, Yoko Fujisawa, Naoko Sakai, Nobuko Tsukahara, Yuriko Okamoto, Junko Kusunoki, Ikuko Sakai, Tomoko Majima Practice for Cancer Pharmacotherapy among Nurses, Physicians, and Pharmacists in Japan: A Descriptive Cross-Sectional Study Journal of International Nursing Research 4(1) e2024-0020 2025 年
- 藤田博一, 野田康子, 荒関かやの, 石原慎, 岡田隆夫, 清水郁夫, 清水貴子, 原田芳巳, 山内かづ代, 瀬戸山陽子 障害のある医学生の実験における合理的配慮の方針 医学教育 55(2) 169-176 2024 年 4 月 25 日
- 鈴木 みづえ 金盛 琢也 内藤 智義 稲垣 圭吾 吉村 浩美 御室 総一郎 酒井 郁子 澤木 圭介 松下 君代 佐々木 菜名代 石原 哲郎 大庭 富美子 石垣 香ほり 河島 智子 八木 純 寺田 千尋 池田 千枝子 達家 好美 杉村 ますみ 山梨 美鈴 内田 聡美 下山 美穂 宮城島 知弘 鈴木 美佳 急性期病院の看護師に対する認知症看護実践能力育成プログラムの多施設ランダム化比較研究 パーソン・センタード・ケアと認知症の種類別プログラムの比較 日本老年医学会雑誌 61(2) 204-217 2024 年 4 月 25 日
- 井出 成美, 臼井 いづみ, 孫 佳茹, 酒井 郁子 IPE 最終段階プログラム終了後の Interprofessional アイデンティティ 文化看護学会誌 16(1) 55-55 2024 年 5 月

- 出穂 麻智子, 佐伯 昌俊, 西宮 岳, 酒井 郁子 特定行為研修を修了した手術室看護師による肝切除術高齢患者へのせん妄予防を焦点とした周術期看護 老年看護学 29(1) 112-120 2024 年 7 月
- 酒井 郁子, 長谷川 直, 窪田 容子, 瀬尾 智美, 西垣 昌和, 友滝 愛, 佐伯 昌俊 【EBP から実装へ 2・実装科学と社会への普及】 より良いケアをめざすための EBP 実装 千葉大学医学部附属病院 包括的せん妄ケアチームの活動から 看護研究 57(3) 230-243 2024 年 6 月

書籍

- Ikuo Shimizu Social interdependence in collaborative learning 2024 年 12 月 (ISBN: 9789464962901)
- 木村武司, 清水郁夫 (担当:分担執筆, 範囲:レジリエンスの高い職場の作り方) スタッフが離職しない病院・看護部のつくり方: 集まる、辞めない、成長する職場づくり メディカ出版 2024 年 8 月 20 日 (ISBN: 9784840484800)
- 田島 寛之 エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディーズ(第 14 回) 「寝ても疲れが取れないんです」 (株)文光堂 2024 年 8 月
- 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター, 吉村, 健佑, 松本, 晴樹, 近藤, 克則, 野口, 晴子, 小谷, 和彦, 松本, 俊彦, 石井, 洋介, 小笠原, 定久, 山口, 育子, 鋪野, 紀好, 津野, 香奈美, 近藤, 尚己, 川上, 英良, 稲葉, 可奈子, 岸本, 泰士郎, 加藤, 浩晃, 佐々木, 淳 熱意を理性でドライブせよ ログカ書房 2025 年 2 月 (ISBN: 9784911064177)
- 日本大学総合診療リーダーシップ・教育円卓会議, 多胡, 雅毅, 鋪野, 紀好, 志水, 太郎, 佐々木, 陽典, 高橋, 宏瑞, 和足, 孝之 内科外来診療の掟: 診断力を上げる総合診療のアプローチ 中外医学社 2024 年 6 月 (ISBN: 9784498120204)
- "日本エンドオブライフケア学会, 浅見, 洋, 足立, 智孝, 高橋, 在也, 長江, 弘子, 平原, 佐斗司, 島田, 千穂
- " エンドオブライフケア学: "自分らしく生きる"哲学 日本看護協会出版会 2024 年 8 月 (ISBN: 9784818027817)
- 酒井郁子 高齢者総合機能評価 (CGA) に基づく診療・ケアガイドライン 2024 南江堂 2024 年 6 月
- 酒井郁子 (担当:共著, 範囲:2040 年に期待するプライマリ・ケア (3) 看護の立場から) プライマリ・ケアの理論と実践〈完全版〉 日本医事新報社・日本プライマリ・ケア連合学会 2024 年 12 月
- 酒井 郁子 (担当:共著, 範囲:3 地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 8 高齢者看護における多職種連携) ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 株式会社メディカ出版 2025 年 1 月
- 酒井郁子 (担当:共著, 範囲:4 高齢者看護の基本 6 高齢者のリスクマネジメント) ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 株式会社メディカ出版 2025 年 1 月
- 酒井郁子 (担当:共著, 範囲:7 精神・神経機能障害と看護 せん妄) ナーシング・グラフ

総説

- Motohiro Sano, Masatoshi Saiki, Mariko Masujima, Yoko Fujisawa, Naoko Sakai, Nobuko Tsukahara, Yuriko Okamoto, Junko Kusunoki, Ikuko Sakai, Tomoko Majima Practice for Cancer Pharmacotherapy among Nurses, Physicians, and Pharmacists in Japan: A Descriptive Cross-Sectional Study Journal of International Nursing Research 4(1) e2024-0020 2025 年
- 清水郁夫 「熱が続いて、首が腫れています」エキスパートが教える問診の勘所 対話から拾い上げるコモンディジーズ Medica Practice 41(3) 486-489 2024 年 3 月
- 鋪野 紀好 エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディジーズ(第 13 回) 「頭が痛くてだるいです」 Medical Practice 41(7) 1118-1121 2024 年 7 月
- 福澤 文駿, 鋪野 紀好 エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディジーズ(第 17 回) 「2 日前から腰が痛いです」 Medical Practice 41(11) 1766-1769 2024 年 11 月
- 鋪野 紀好 エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディジーズ(第[19]回) 「右肩が痛くて腕も痺れているんです」 Medical Practice 42(1) 2025 年 1 月号 150-153 2024 年 12 月 20 日
- 青山彩香, 鋪野紀好 エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディジーズ 第 22 回 「手先が痺れるんです」 Medical Practice 42(4) 2025 年 4 月号 2025 年 3 月 27 日
- 鋪野 紀好 【プライマリ・ケアの理論と実践<完全版>】(第 11 章)Difficult patient encounters への対応技法 総論 患者中心の医療と医療者自身のケアを向上させるために jmed mook (95) 130-131 2024 年 12 月
- 武田 慧里子, 鋪野 紀好 【プライマリ・ケアの理論と実践<完全版>】(第 11 章)Difficult patient encounters への対応技法 怒っている患者への対応 良好な患者-医師関係形成のために jmed mook (95) 132-133 2024 年 12 月
- 横田 雄也, 鋪野 紀好 【プライマリ・ケアの理論と実践<完全版>】(第 11 章)Difficult patient encounters への対応技法 悪い知らせの伝え方 SHARE プロトコルと共感的対応 jmed mook (95) 134-135 2024 年 12 月
- 飯塚 玄明, 鋪野 紀好 【プライマリ・ケアの理論と実践<完全版>】(第 11 章)Difficult patient encounters への対応技法 ノン・アドヒアランスへの対応 解釈モデル, 両価性, 社会経済的状況といった隠れた要因 jmed mook (95) 136-137 2024 年 12 月
- 鎌田 雄, 鋪野 紀好 【プライマリ・ケアの理論と実践<完全版>】(第 11 章)Difficult patient encounters への対応技法 発達障害の傾向のある患者とのコミュニケーション コミュニケーションが困難な理由に疑問を持ち, 問いかけよう jmed mook (95) 138-139 2024 年 12 月
- 鋪野 紀好, 徳田 安春, 西崎 祐史 ゲストライブ Improvisation(第 29 回) 臨床研修における至適内科ローテーションを読み解く 総合診療 34(11) 1211-1218 2024 年 11 月

- 鋪野 紀好 【総合的な診療能力を高める 診断推論戦略 Up To Date】総論 診断推論戦略 Fundamental Semantic Qualifier 適切な統制語を設定する 診断と治療 112(10) 1213-1216 2024 年 10 月
- 鋪野 紀好 【総合的な診療能力を高める 診断推論戦略 Up To Date】診断推論戦略 Modern Strategy 患者受療行動に基づく診断 Behavior-based medical diagnosis 診断と治療 112(10) 1273-1276 2024 年 10 月
- 鋪野 紀好 【救急の問診術 限られた時間でどう聞く?どう考える?曖昧な主訴や聞きにくいことも、上手に情報収集・解釈できる!】心因性か否かを見抜く問診 レジデントノート 26(10) 1726-1734 2024 年 10 月
- 鋪野 紀好 【語りたい!総合診療のエビデンス】日本発!総合診療医が作るエビデンス 混合研究法 質的・量的な視点から複雑な現象を理解する 治療 106(9) 1063-1067 2024 年 9 月
- 鋪野 紀好 【Choosing Wisely 内科医の賢明な選択とは】総合内科領域におけるトピック Society of General Internal Medicine 診断と治療 112(4) 492-494 2024 年 4 月
- 鋪野 紀好 【Choosing Wisely 内科医の賢明な選択とは】総合内科領域の賢明な選択 睡眠障害 診断と治療 112(4) 495-496 2024 年 4 月
- 小野寺みさき (例会の記録) 第 171 回 新制高等学校における男女共学制導入過程の検討 一戦後教育改革期における東京・千葉・埼玉の公立校を中心に― 総合女性史研究 (42) 83-84 2025 年 3 月
- 高橋在也 スピノザの哲学と罪責感の癒し 新薬と臨床 74(1) 53-57 2025 年 1 月
- 鋪野 紀好, 山内 かづ代, 荒木 信之, 伊藤 彰一 【地域連携教育の可能性】千葉大学地域医療教育学講座の取り組みについて 地域医療の未来を担う人材育成とその可能性 病院経営羅針盤 16(271) 10-15 2025 年 2 月
- 酒井 郁子 【EBP から実装へ 1-モデルを深める】看護実践における EBP 実装モデルへの期待 看護研究 57(2) 90-92 2024 年 4 月
- 酒井 郁子 特集 多職種連携の土台を築く 〈論考 1〉 多職種連携の理念 コミュニティケア 26(9) 6-12 2024 年 8 月 5 日
- 佐伯昌俊, 今井陽子, 西宮岳, 酒井郁子 特定行為誕生の歴史と今、これから. 特定行為看護 1(1) 創刊号 10-15 2024 年 9 月
- 酒井 郁子 #書評:「卓越したジェネラリスト診療」入門-複雑困難な時代を生き抜く臨床医のメソッド 総合診療 34(9) 1033-1033 2024 年 9 月 15 日
- 鋪野 紀好, 山内 かづ代, 荒木 信之, 伊藤 彰一 【地域連携教育の可能性】千葉大学地域医療教育学講座の取り組みについて 地域医療の未来を担う人材育成とその可能性 病院経営羅針盤 16(271) 10-15 2025 年 2 月
- 酒井 郁子 【EBP から実装へ 1-モデルを深める】看護実践における EBP 実装モデルへの期待 看護研究 57(2) 90-92 2024 年 4 月
- 酒井 郁子 特集 多職種連携の土台を築く 〈論考 1〉 多職種連携の理念 コミュニティケア 26(9) 6-12 2024 年 8 月 5 日
- 佐伯昌俊, 今井陽子, 西宮岳, 酒井郁子 特定行為誕生の歴史と今、これから. 特定行為看護 1(1) 創刊号 10-15 2024 年 9 月

- 酒井 郁子 #書評:「卓越したジェネラリスト診療」入門-複雑困難な時代を生き抜く臨床医のメソッド 総合診療 34(9) 1033-1033 2024 年 9 月 15 日
- 鋪野 紀好 【Well-being を考える】医療者の Well-being 地域医学 38(11) 1176-1184 2024 年 11 月
- 小泉俊三, 山中克郎, 鋪野紀好 提言：日本の Choosing Wisely, こうして進めよう Choosing Wisely Japan 18 1-11 2024 年 11 月

教材開発

- なし

その他

- なし

競争的資金

外部資金名・種別	研究課題名（研究題目）	研究者	採択年度
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	尊厳あるケアのための多層的リーダーシップ発揮による身体拘束縮小戦略の理論化と普及	酒井 郁子, 山本 武志, 西垣 昌和, 保田 江美, 深堀 浩樹, 佐伯 昌俊, 友滝 愛, 松岡 千代	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	看護の役割拡大に伴う判断に係る教育プログラム構築：コンピテンシー、EPAs の明文化	萱間 真美, 春山 早苗, 酒井 郁子, グレグ 美鈴, 大西 弘高	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	特定行為に係る看護師の研修制度の政策過程の分析	山本 武志, 酒井 郁子	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	専門職連携教育が有する学習者のエージェンシーに対する教育効果の多機関共同研究	下井 俊典, 酒井 郁子, 井出 成美, 孫 佳茹, 高野 吉朗, 有家 尚志, 濱地 望, 大古場 良太, 仲 貴子, 吉松 竜貴	2024-2028
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	1960 年代の教育・労働裁判が教育政策に与えた影響に関する実証的研究	高木 加奈絵, 木村 康彦, 前田 麦穂, 桑嶋 晋平, 長嶺 宏作, 富山 仁貴, 跡部 千慧, 鈴木 麻里子	2024-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	行政と協働した日本型対話促進 ACP モデルによる教育的介入と社会的スキームの実装	長江 弘子, 原沢 のぞみ, 那須 真弓, 坂井 志麻, 片山 陽子, 中村 円, 高橋 在也, 岩崎 孝子, 高 紋子, 山縣 千尋, 彦 聖美, 青山 美紀子, 酒井 武志, 千葉 恵子, 山田 案美加	2022-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究	外国人患者との良好なコミュニケーションおよび異文化理解を促す医学英語教育の開発	塚本 知子	2025-2027
厚生労働科学研究 費補助金	令和 2 年度の医師臨床研修制度の見直しの影響の評価のための研究	竹村洋典, 横山和仁, 武藤 剛, 大西弘高, 伊藤彰一, 松本卓子, 片桐大輔, 鋪野紀好, 佐藤武郎, 鷺尾真理愛	2024-2025

厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 政策科学推進研究事業	総合的な診療能力を有する医師の活躍推進方策に関する調査研究	小林大輝, 前野哲博, 他 (鋪野 紀好)	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	医学教育プログラムのモニタ・評価・改善に資する質保証の好循環システムに関する研究	松本 暢平, 笠井 大, 鋪野 紀好, 横尾 英孝, 朝比奈 真由美, 伊藤 彰一	2024-2026
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金事業	ICT を利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究	河北博文, 岡崎仁昭, 松山 泰, 浅田義和, 久保沙織, 小西康彦, 小松弘幸, 高村昭輝, 内藤俊夫, 奈良信雄, 錦織宏, 伴信太郎, 森博威	2024-2026
厚生労働省 行政推進調査事業費	医師臨床研修制度における基本的臨床能力評価試験の活用等に関する研究	小林裕幸, 徳田安春, 志水太郎, 山本祐, 鋪野紀好, 福井翔, 西崎祐史, 長崎一哉, 西口翔, 片山皓太, 高田俊彦, 和足孝之, 藤川裕恭, 横瀬允史	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A)	AI による対話技術を活用した模擬患者アバターでの仮想空間医療面接教育基盤の創生	石原 慎, 岡崎 史子, 蓮沼直子, 高橋 誠, 橋本 佳, 廣井 直樹, 寺澤 晃彦, 小松弘幸, 山内 かづ代, 三好 智子, 伊藤 俊之, 伊藤 彰一, 藤田 博一, 田口 亮, 大久保由美子, 李 晃伸, 荒川 敏, 棚野 吉弘, 岸 美紀子, 上乃聖, 鋪野 紀好	2024-2028
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	人工呼吸管理に習熟した医療人材育成の為の多職種連携教育手法の開発および効果検証	田島 寛之, 伊藤 彰一, 笠井大	2024-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	診療参加型臨床実習を推進する新たな指導法の開発：汎用化に向けた多施設共同研究	横尾 英孝, 大西 俊一郎, 笠井 大, 鋪野 紀好, 松本 暢平, 塚本 知子, 神田 真人, 若林 華恵, 杉山 淳比古, 朝比奈 真由美, 伊藤 彰一	2023-2026

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	卒前卒後の地域医療学修を支える地域実践型指導医育成プログラムの開発と評価	山内 かづ代, 鋪野 紀好, 伊藤 彰一	2023-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	医療系学部・大学院の全員留学による学びの包括的評価に関する実証研究	中村 絵里, 伊藤 彰一, 大西 好宣, 松本 暢平, 山田 知子, 伊藤 晃成, 酒井 郁子, 野崎 章子, カズノブ ダビッド	2021-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	DXに基づく急性期病院の認知症ケア専門職連携を促進する Simulation Platform の開発	鈴木 みずえ, 伊藤 友孝, 酒井 郁子, 五十嵐 歩, 山川 みやえ, 御室 総一郎, 稲垣 圭吾, 内山 昌代, 金盛 琢也	2023-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	山川 みやえ, 足立 浩祥, 酒井 郁子, 深堀 浩樹, 池田 学, 樋上 容子, 糀屋 絵理子, 竹屋 泰, 釜江 和恵, 金盛 琢也	2022-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	在宅移行期にある多疾患併存状態の高齢患者に関し病院医が在宅医に提供すべき診療情報	杉本 なおみ, 酒井 郁子, 大西 弘高	2022-2024
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 若手研究	実践的 EBM 能力を有する医療者養成のための教育プログラム開発とその効果検証	笠井 大	2021-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	質の高い安全な医療の提供のための高信頼性組織理論に基づく医療安全教育の開発と実装	田中 和美, 清水郁夫, 岸美紀子, 大石裕子, 中里智子, 篠崎博光, 斎藤貴之, 小松康宏, 相馬孝博, 小松浩子	2025-2029
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	多職種連携による医療安全向上のための職種別エラー特性と法的責任の検討	鳥羽三佳代, 清水郁夫, 森脇睦子, 中部貴央	2025-2027
日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B)	理系アカデミアのパワハラ・アカハラ尺度の開発	山崎 由花, 片岡 仁美, 野原理子, 荻田 香苗, 北野 尚美, 野村 恭子, 小塩 真司, 清水 郁夫, 大久保 由美子, 平間 雅博	2021-2024

日本学術振興会 科学研究費補助金 (基盤研究(B))	生涯学習としての患者安全: 事故事例から自己研鑽をも たらし学習科学的戦略の確 立	清水 郁夫	2021-2024
	高度医療機器が関与する有 害事象の頻度と重篤度に影 響を及ぼす因子を探索する 数的・質的融合デザイン研 究	深水淳一, Tom Johnson, Kalaivani Mahadevan, 清 水郁夫, William Wijns, Manabu Tamura, Shigeki Ariur, Ryouta Tanetani, Shouta Arahira, Nitin Chandramohan, Tobias MacCarthy, Gina Llopar	2024
	我が国の医療事故収集等事 業報告における Diagnostic error の全国規模調査	清水郁夫, 鋪野紀好, 志水太 郎	2024
日本学術振興会 科 学研究費助成事業 若手研究	自然言語処理による自動 ICF コーディングシステムの 構築	尾崎 尚人	2020-2024
日本学術振興会 科 学研究費助成事業 若手研究 若手研究	定着村事業に着目した韓国 ハンセン病政策史再考	吉田 幸恵	2020-2024
日本学術振興会 科 学研究費助成事業 研究活動スタート 支援	社会変動に直面する私立高 等学校経営に関する実証的 研究	木村 康彦	2020-2024
日本学術振興会 科 学研究費助成事業 基盤研究(C)	日本型福祉国家における臨 時教育審議会に関する研究	長嶺 宏作, 木村 康彦, 中村 恵佑, 高木 加奈絵, 荒井 英 治郎	2023-2027
早稲田大学 教育総 合研究所 早稲田大 学 教育総合研究所 早稲田大学教育総 合研究所 公募研究 助成費	私立大学における高大接続 に関する研究: 内部進学な ど多様な入試形態に着目し て	吉田 文, 沈 雨香, 武藤 浩 子, 山本 桃子, 木村 康彦, 藤本 啓寛, 濱中 淳子	2023-2024

11. IR データ

※見出しのみ掲載（各種報告書／集計結果は内部資料として保管）

卒前教育 IR データ

- 卒業時調査
- メンター制度にかかるデータ（メンタープロフィール、メンタリング終了後アンケート）
- wbt 成績・共用試験成績
- 学生による授業評価アンケート

卒後教育 IR データ

- 卒後臨床研修に関するアンケート調査（研修医採用予定者ガイダンス時）
- 卒後臨床研修に関するアンケート調査（研修修了時）
- 地域医療研修に関するアンケート
- 研修医面談レポート

その他

- 千葉大学医学部附属病院研修医選抜試験アンケート調査

12. 資料（規程等）

千葉大学医学部医学教育研究室規程

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000670.htm>

（平成 17 年 12 月 12 日制定）

（一部抜粋）

（設置）

第 1 条 千葉大学医学部（以下「医学部」という。）に、医学教育研究室を置く。

（目的）

第 2 条 医学教育研究室は、医学部における学生の入学から卒業までの一貫した教育、卒業後研修及び生涯医学教育等（以下「一貫教育等」という。）を支援・実施することを目的とする。

（業務）

第 3 条 医学教育研究室は、一貫教育等を支援・実施するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 入学試験、カリキュラムの企画・実施に関すること。
- 二 進級判定、卒業認定等の実施・管理に関すること。
- 三 医学教育に関する調査・研究及び教育プログラムの開発に関すること。
- 四 教員を対象とした教育貢献の評価法の実施及び評価に関すること。
- 五 FD（ファカルティ・ディベロップメント）の企画・実施等に関すること。
- 六 生涯医学教育の企画・実施等に関すること。
- 七 その他一貫教育等の支援・実施に関すること。

（組織）

第 4 条 医学教育研究室に、次の職員を置く。

- 一 室長
- 二 副室長
- 三 その他医学部長が必要と認めた者

（室長・副室長）

第 5 条 室長及び副室長は、医学部長が指名する者をもって充てる。

- 2 室長は、医学教育研究室の業務を総括する。
- 3 副室長は、室長の職務を補佐する。

（部門）

第 6 条 医学教育研究室に、次の部門を置く。

- 一 教育評価部門
- 二 FD（ファカルティ・ディベロップメント）実施部門
- 三 情報管理部門
- 四 国際交流部門

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000913.htm>

(平成 16 年 4 月 1 日制定)

(一部抜粋)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、千葉大学医学部附属病院規程第 30 条の規定に基づき、千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 センターは、医学部附属病院長の管理の下に、医学部附属病院において教育研修を実施するとともに、病院における各種教育研修への支援及び助言をすることを目的として、次の各号の業務を行う。

- 一 医師等の臨床研修に関すること。
- 二 医師等の専門研修に関すること。
- 三 看護師特定行為研修に関すること。
- 四 医療系学生の教育研修に関すること。
- 五 研修登録医、病院研修生、受託実習生、臨床研修見学生の教育研修に関すること。
- 六 教育研修に関するデータの集積及び分析に関すること。
- 七 各種教育研修を統括すること。
- 八 その他教育研修に関すること。

(部門)

第 3 条 センターに、次の部門を置く。

- 一 教育研修管理部門
- 二 教育研修実践部門
- 三 調査・分析部門

(職員及び職務)

第 4 条 センターに、センター長を置く。

2 前項に規定する者のほか、次の職員を置くことができる。

- 一 副センター長
- 二 教授、准教授、講師及び助教
- 三 その他の職員

3 前項各号に掲げる職員は、センター長の命を受け、担当の業務を処理する。

(教育研修管理チーム)

第 5 条 センターに、院内の研修計画の立案及び管理等を行うため、教育研修管理チームを設置する。

(雑則)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター教育研修管理チーム内規

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110001573.htm>

(令和3年7月1日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程(以下「センター規程」という。)第6条の規定に基づき、センター規程第5条に規定する千葉大学医学部附属病院総合医療教育センター教育研修管理チーム(以下「教育研修管理チーム」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(活動内容)

第2条 教育研修管理チームは、総合医療教育研修センター長の管理の下、次に掲げる活動を行う。

- 一 教育・研修に関する計画の立案及び管理等
- 二 教育・研修の質の向上に資する活動

(組織)

第3条 教育研修管理チームは、次に掲げる職員をもって構成する。

- 一 総合医療教育研修センターの教職員 若干名
 - 二 クリニカル・スキルズ・センターの教職員 若干名
 - 三 卒後臨床研修カリキュラム専門委員会の医師及び歯科医師 若干名
 - 四 検査部の臨床検査技師 若干名
 - 五 放射線部の臨床放射線技師 若干名
 - 六 輸血・細胞療法部の臨床検査技師 若干名
 - 七 病理部の臨床検査技師 若干名
 - 八 リハビリテーション部の療法士 若干名
 - 九 臨床工学センターの臨床工学技士 若干名
 - 一〇 企画情報部の教職員 若干名
 - 一一 医療安全管理部の医師、看護師又は薬剤師 若干名
 - 一二 患者支援部の医療社会福祉士 若干名
 - 一三 臨床栄養部の管理栄養士 若干名
 - 一四 薬剤部の薬剤師 若干名
 - 一五 看護部の看護師 若干名
 - 一六 事務部総務課の事務職員 若干名
 - 一七 事務部医事課の事務職員 若干名
 - 一八 その他総合医療教育研修センター長が必要と認めた者 若干名
- 2 前項に定める構成員は、各部署からの推薦を受けて総合医療教育研修センター長が指名する。

(チーム長及び副チーム長)

第4条 教育研修管理チームにチーム長及び副チーム長を置く。

2 チーム長は総合医療教育研修センター長が兼務し、副チーム長はチーム長が指名する。

3 チーム長は教育研修管理チーム会議(以下「会議」という)を招集し、その議長となる。

4 チーム長に事故あるときは、副チーム長がその職務を行う。

(会議)

第5条 教育研修管理チームは、第2条に掲げる活動を行うため、年に2回を定例として会議を開催する。ただし、チーム長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

2 会議は、構成員の過半数の出席がなければ開催することができない。

3 チーム長が必要と認めたときは、構成員以外の者を会議に出席させることができる。

4 会議の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときはチーム長の決するところによる。

(コア会議)

第6条 チーム長は、第2条に掲げる活動を支援するため、教育研修管理チームのもとに、チーム長、副チーム長その他チーム長が必要とする者からなるコア会議を開催することができる。

(事務)

第7条 教育研修管理チームの事務は、総合医療教育研修センター及び総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、教育研修管理チームに関し必要な事項は、別に定める。